

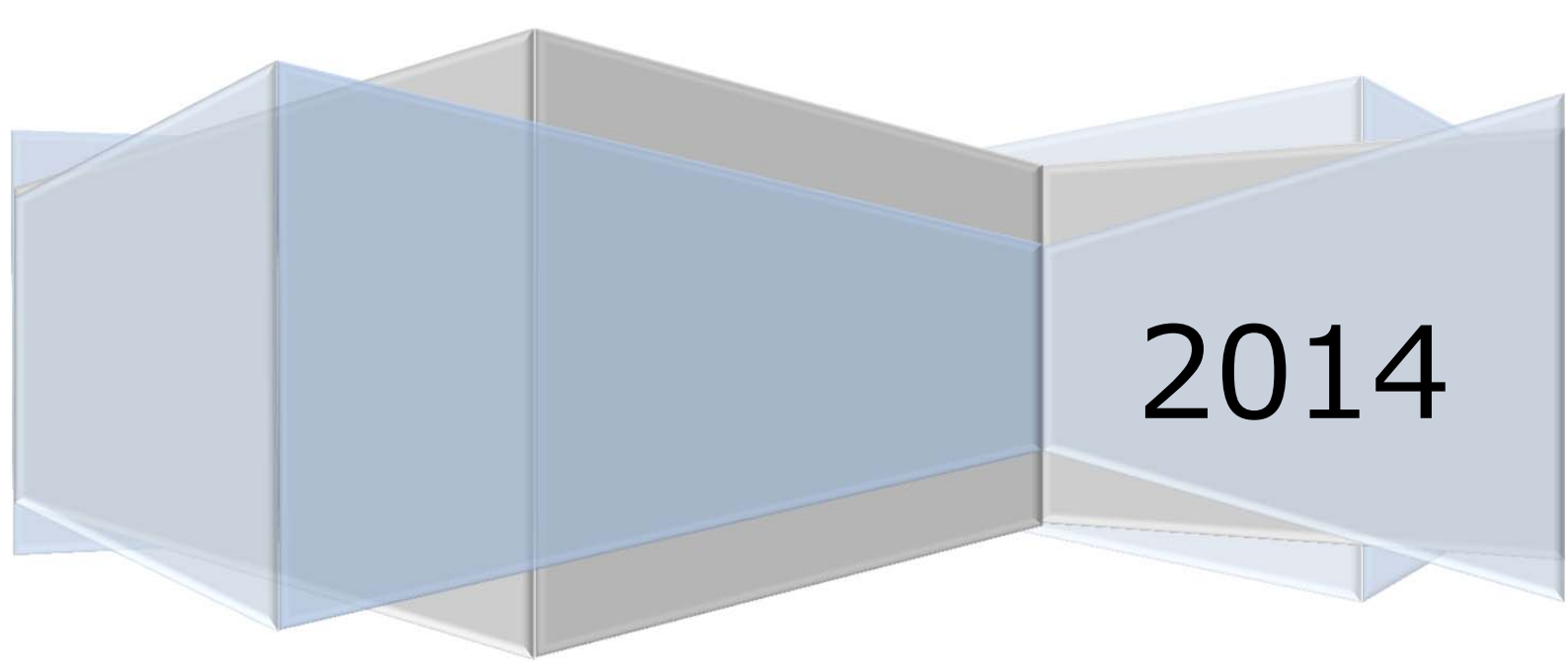
東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

－教養教育－

医学部医学科 2・3 年

歯学部歯学科 2・3 年



2014

平成26年度医歯学融合教育(教養教育)

● 医学科・歯学科(2年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00～9:50)	2時限(10:05～10:55)	3時限(11:10～12:00)	
4月17日	木	1	生命科学基礎(生物学) (医学科・歯学科2年生対象) (服部・伊藤) (医学科講義室1 および大学院講義室4)	主題別選択Ⅰ(前半) (医学科・歯学科2年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)		
4月24日	木	2				
5月1日	木	3				
5月8日	木	4				
5月15日	木	5				
5月22日	木	6				
5月29日	木	7				
6月5日	木	8				
6月12日	木	9				
6月19日	木	10				
6月26日	木	1	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (奈良・澤野) (医学科講義室1 および大学院講義室4)	主題別選択Ⅰ(後半) (医学科・歯学科2年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)		
7月3日	木	2				
7月10日	木	3				
7月17日	木	4				
7月24日	木	5				
9月18日	木		試験	試験		
10月2日	木	6	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (奈良・澤野) (医学科講義室1および大学院講義室4)			
10月9日	木	7				
10月16日	木	8				
10月23日	木					
10月30日	木	9	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (奈良・澤野) (医学科講義室1 および大学院講義室4)			
11月6日	木	10				
11月13日	木	1	生命科学基礎(物理学) (医学科・歯学科2年生対象) (千葉・越野) (医学科講義室1 および大学院講義室4)			
11月20日	木	2				
11月27日	木	3				
12月4日	木	4				
12月11日	木	5				
12月18日	木	6				
1月8日	木					
1月15日	木	7	生命科学基礎(物理学) (千葉・越野) (医学科講義室1 および大学院講義室4)			
1月22日	木	8				
1月29日	木	9				
2月5日	木	10				
2月12日	木		試験	試験		
3月5日	木		試験	試験	試験	

● 医学科・歯学科(3年生)

月日	曜日	回数	2時限(10:05～10:55)	3時限(11:10～12:00)
4月17日	木	1	主題別選択Ⅱ(前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
4月24日	木	2		
5月1日	木	3		
5月8日	木	4		
5月15日	木	5		
5月22日	木	6		
5月29日	木	7		
6月5日	木	8		
6月12日	木	9	主題別選択Ⅱ(後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
6月19日	木	10		
6月26日	木	11		
7月3日	木	12		
7月10日	木	13		
7月17日	木	14		
7月24日	木	15		
10月2日	木	1		主題別人文社会科学セミナー (後期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員)(講義室:次ページ参照)
10月9日	木	2		
10月16日	木			
10月23日	木	3		主題別人文社会科学セミナー (後期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
10月30日	木	4		
11月6日	木	5		
11月13日	木	6		
11月20日	木	7		主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
11月27日	木	1		
12月4日	木	2		
12月11日	木	3		
12月18日	木	4		
1月8日	木			
1月15日	木	5		主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
1月22日	木	6		
1月29日	木	7		
2月5日	木	8		

教養教育

世界に通用する医療人になるためには、専門教育で獲得する知と技に加えて、様々な文化や多様な世界を理解できる教養と、他者を理解するための人間としての力が求められています。教養部では、そのためには、教養教育と、専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行うことが必要だと考えています。

1 年次には国府台キャンパスで、自然科学や人文社会科学の基本的な考え方を学ぶとともに基礎学力の充実を図りました。2 年次と 3 年次には湯島キャンパスで、専門教育と密接にかかわる自然科学の分野を「生命科学基礎」として学びます。さらに、自然科学、人文社会科学、語学について複合的に学ぶことをとおして、自己問題提起・解決型の想像力を付けることを目的とした、「主題別選択Ⅰ・Ⅱ」と「主題別人文社会科学セミナー」の授業が行われます。

科目概要

1) 生命科学基礎（生物学・化学・物理学）

1 年次の学習だけでは不十分であった生物学、化学、物理学の内容を補うとともに、生命科学に関係するトピックも取り上げ、医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学ぶことで、基礎学力のさらなる充実を図り、専門教育への円滑につないでいくことを目的としています。

2) 主題別選択Ⅰ・Ⅱ

「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という 5 つの視点の中から各自が 1 つの視点を選択し、その視点から「人間」を考えてみる授業です。3 年次に行われる「主題別人文社会科学セミナー」へ向け、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけることを目的としています。

3) 主題別人文社会科学セミナー

各主題に別れて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導きます。自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分の考えを持つことが期待されています。

生命科学基礎

時間割番号	000505					
科目名	生命科学基礎(生物 A)					
担当教員	伊藤 正則, 服部 淳彦					
開講時期	通年	対象年次	2			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4－2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げることににより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。						
授業の到達目標(SB0s) 1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2) 生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概論	伊藤 正則, 服部 淳彦
2	4/24	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	生体内における概日時計の存在と機能	伊藤 正則, 服部 淳彦
3	5/1	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概日時計の存在部位	伊藤 正則, 服部 淳彦
4	5/8	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	分子機構の解析方法	伊藤 正則, 服部 淳彦
5	5/15	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概日時計機能発現の分子機構①	伊藤 正則, 服部 淳彦
6	5/22	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	概日時計機能発現の分子機構②	伊藤 正則, 服部 淳彦
7	5/29	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	メラトニンの構造・生合成経路・機能・作用機序	伊藤 正則, 服部 淳彦
8	6/5	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	周期性の適応的意義	伊藤 正則, 服部 淳彦
9	6/12	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	ヒトでのリズム異常と病気	伊藤 正則, 服部 淳彦
10	6/19	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命科学基礎「生物学 A」	まとめ	伊藤 正則, 服部 淳彦
授業方法 講義形式による。						
授業内容 生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。						
成績評価の方法 評価: 試験による。生物学、化学、物理学の総合的評価による。前期では生物学と化学の前半部分の試験、後期ではは化学の後半部分と物理学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						

準備学習などについての具体的な指示
知識が体系的になるようにノートを整理する等の複習を行うこと。
試験の受験資格
2/3以上出席したものに試験の受験資格を与える。
参考書
時間生物学の基礎 / 富岡 憲治:裳華房, 2008
履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先
伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000506				
科目名	生命科学基礎(生物B)				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	通年	対象年次	2		
・曜日・時間:木曜1限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4ー2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学 力・思考力を身につける					
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げることにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。					
授業の到達目標(SBOs) 1)医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2)生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	09:00-09:50	医学科講義室1	時間治療学:入門編	服部 淳彦, 伊藤 正則
2	4/24	09:00-09:50	医学科講義室1	生命現象にみられるリズム性	服部 淳彦, 伊藤 正則
3	5/1	09:00-09:50	医学科講義室1	概日時計の性質	服部 淳彦, 伊藤 正則
4	5/8	09:00-09:50	医学科講義室1	概日時計の存在部位	服部 淳彦, 伊藤 正則
5	5/15	09:00-09:50	医学科講義室1	時計遺伝子とその制御	服部 淳彦, 伊藤 正則
6	5/22	09:00-09:50	医学科講義室1	概日時計からの出力系	服部 淳彦, 伊藤 正則
7	5/29	09:00-09:50	医学科講義室1	病気の中にみられるリズム性	服部 淳彦, 伊藤 正則
8	6/5	09:00-09:50	医学科講義室1	生物の進化とフリーラジカル	服部 淳彦, 伊藤 正則

9	6/12	09:00-09:50	医学科講義室 1	フリーラジカルと疾病	服部 淳彦, 伊藤 正則
10	6/19	09:00-09:50	医学科講義室 1	時間治療学:応用編	服部 淳彦, 伊藤 正則
授業方法 講義形式による。					
授業内容 生命科学(特に時間生物学・時間医歯学)のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。					
成績評価の方法 評価: 試験 100% 生物学、化学、物理学の総合的評価による。前期では生物学と化学の前半部分の試験、後期では化学の後半部分と物理学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 講義の内容と関連のある書物を読むこと。					
参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, 裳華房, 2003					
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)					

時間割番号	000501					
科目名	生命科学基礎(化学 A)					
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子					
開講時期	通年	対象年次	2			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。						
授業の到達目標(SB0s) 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/26	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(1)	糖鎖の化学(1)	澤野 頼子
2	7/3	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(2)	糖鎖の化学(2)	澤野 頼子
3	7/10	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(3)	アミノ酸の化学	澤野 頼子
4	7/17	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(4)	タンパク質の化学	澤野 頼子
5	7/24	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(5)	脂質の化学	澤野 頼子
6	10/2	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(1)	反応速度、速度式、速度定数、反応次数	奈良 雅之
7	10/9	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(2)	素反応と複合反応、反応の分子数	奈良 雅之
8	10/16	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(3)	反応速度論の理論	奈良 雅之
9	10/30	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(4)	触媒反応、酵素反応	奈良 雅之
10	11/6	09:00-09:50	医学科講義室 1	化学反応速度論(5)	酵素反応における阻害剤の影響	奈良 雅之

授業方法 講義形式による
授業内容 生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。
成績評価の方法 評価:試験 100%・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価:有 再試験
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。
試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著.:共立出版, 2008 数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕 著.:化学同人, 2009
参考書 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表.:東京化学同人, 2013 アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳.:東京化学同人, 2008
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学(の前半)、後期の定期試験では化学(の後半)と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000502					
科目名	生命科学基礎(化学B)					
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子					
開講時期	通年	対象年次	2			
・曜日・時間:木曜1時限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
授業の目的、概要等						
1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。						
授業の到達目標(SB0s)						
生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/26	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(1)	反応速度、速度式、速度定数、反応次数	奈良 雅之
2	7/3	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(2)	素反応と複合反応、反応の分子数	奈良 雅之

3	7/10	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(3)	反応速度論の理論	奈良 雅之
4	7/17	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(4)	触媒反応、酵素反応	奈良 雅之
5	7/24	09:00-09:50	大学院講義室 4	化学反応速度論(5)	酵素反応における阻害剤の影響	奈良 雅之
6	10/2	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(1)	糖鎖の化学(1)	澤野 頼子
7	10/9	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(2)	糖鎖の化学(2)	澤野 頼子
8	10/16	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(3)	アミノ酸の化学	澤野 頼子
9	10/30	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(4)	タンパク質の化学	澤野 頼子
10	11/6	09:00-09:50	大学院講義室 4	生体高分子論(5)	脂質の化学	澤野 頼子
授業方法						
講義形式による						
授業内容						
生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。						
成績評価の方法						
評価:試験 100%・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。)						
再評価:有 再試験						
成績評価の基準						
評価:試験 100%・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。)						
再評価:有 再試験						
準備学習などについての具体的な指示						
予習:授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。						
復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。						
試験の受験資格						
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席						
教科書						
数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために/齋藤勝裕 著,:化学同人, 2009						
生体分子化学/秋久俊博, 長田洋子 編秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著,:共立出版, 2008						
参考書						
アトキンス生命科学のための物理化学/Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳:東京化学同人, 2008						
マクマリー有機化学(下)/JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表,:東京化学同人, 2013						
履修上の注意事項						
生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学(の前半)、後期の定期試験では化学(の後半)と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。						
連絡先						
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp						
澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階						
澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階						

時間割番号	000503		
科目名	生命科学基礎(物理 A)		
担当教員	越野 和樹		
開講時期	通年	対象年次	2
・曜日・時間:木曜1限 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2)			

授業の目的、概要等

1年次の学習だけでは不十分な物理学の分野を補うとともに、振動・波動に関するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。

授業の到達目標(SB0s)

医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。生命科学の土台となる物理学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができることを到達目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/13	09:00-09:50	医学科講義室 1	単振動	力学・電磁気学の単振動現象を復習する	越野 和樹
2	11/20	09:00-09:50	医学科講義室 1	連成振動(1)	質点が二つある場合の連成振動を議論する	越野 和樹
3	11/27	09:00-09:50	医学科講義室 1	連成振動(2)	質点が多数ある場合の連成振動を議論する	越野 和樹
4	12/4	09:00-09:50	医学科講義室 1	減衰振動	摩擦のある場合の振動を議論する	越野 和樹
5	12/11	09:00-09:50	医学科講義室 1	強制振動	外力のある場合の振動を議論する	越野 和樹
6	12/18	09:00-09:50	医学科講義室 1	波動方程式	連続体の運動方程式から波動方程式を導出する	越野 和樹
7	1/15	09:00-09:50	医学科講義室 1	波の反射と透過	波が異なる媒質を伝播する際の反射係数・透過係数を導出する	越野 和樹
8	1/22	09:00-09:50	医学科講義室 1	定在波	定在波について議論する	越野 和樹
9	1/29	09:00-09:50	医学科講義室 1	電磁波(1)	マクスウェル方程式の積分形・微分形に関する復習	越野 和樹
10	2/5	09:00-09:50	医学科講義室 1	電磁波(2)	微分形マクスウェル方程式から電磁波の方程式を導出する	越野 和樹

授業方法

講義による

授業内容

単振動

連成振動(1)

連成振動(2)

減衰振動

強制振動

波動方程式

波の反射と透過

定在波

電磁波(1)

電磁波(2)

成績評価の方法

試験による。

生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。前期の定期試験では、生物学と化学(の前半)、後期の定期試験では化学(の後半)と物理学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。

参考書

振動・波動／小形正男 著：裳華房，1999

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000504					
科目名	生命科学基礎(物理B)					
担当教員	千葉 司					
開講時期	通年	対象年次	2			
曜日・時限：木曜日・1 時限(9:00-9:50)						
主な講義場所 大学院講義室 4						
授業の目的、概要等 目的：1 年次の学習だけでは不十分な物理学の分野を補うとともに、振動・波動に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養う。 医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくこと。						
授業の到達目標(SB0s) 生命科学の土台となる物理学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができるようになること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/13	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	波とは	千葉 司
2	11/20	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	調和振動子	千葉 司
3	11/27	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	連成振動	千葉 司
4	12/4	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	1次元弾性波	千葉 司
5	12/11	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	定在波	千葉 司
6	12/18	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	反射と屈折	千葉 司
7	1/15	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	電磁波(1)	千葉 司
8	1/22	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	電磁波(2)	千葉 司
9	1/29	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	回折と干渉	千葉 司
10	2/5	09:00-09:50	大学院講義室 4	波動	鏡とレンズ	千葉 司
授業方法 講義						
成績評価の方法 試験による。 生命科学基礎の評価は、生物学、化学、物理学の総合評価で行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書 波動／川村清 著.: 東京教学社, 1998						
参照ホームページ WebClass 内の「物理学」を参照のこと。						
連絡先 chiba.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週金曜日 PM 5:00-7:00 ヒポクラテス 4 階						

主題別教育(医学科・歯学科)について

【目的】

人間とは何か。これまで、偉大な先人達が、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

あらゆる学問は、この人間について思索をめぐらせ、理論化しようとするところから始まったといってもよいでしょう。人間とは甚だ不可思議な、得体の知れない存在です。私たちは、このよく分からない人間として、よく分からない人間が構築する世界で、よく分からない人間と一緒に生きていかねばなりません。人間をめぐる思索は、自分自身の姿、あるいは自分たちが生きる世界の構造を明らかにしようとする営みにほかならず、人間として生きていく上での必然的行為であり、人間の宿命であるともいえます。

主題別教育は、この「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点から考えてみようという取り組みです。

ゴールは、3年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導出します。1年次および2年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。

セミナー修了時には、みなさんは、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになるでしょう。もちろん、それは「絶対的な正解」ではありません。しかし、各自が、3年間かけてたどりついた一つの「結論」です。

そして、この「結論」は、さらなる「新たな問い」を生みだし、「思索」を促し、「新たな結論」へとみなさんを導くでしょう。この、「問い」から「結論」へ、そして「新たな問い」へという、とどまることを知らない学問のダイナミズムを体験すること、そして、自ら思索する力強さを身につけること、これが主題別教育の目的です。

ここでの取り組みは、将来、「人間」そのものを対象とすることになる医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【5つの主題】

文化と人間	生命と人間	言語と人間	制度と人間	時間と人間
-------	-------	-------	-------	-------

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。
言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の5つの主題の中から、1つ選択します。各主題とも、定員は約30名です。

3年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、1年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します）。

どの主題に進むかを決定する時期は、2年進級時です。1年生の2月に「希望調査」を取り、希望を考慮しながら、各主題とも約30名になるように振り分けます。

1年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

1 年生：基盤の形成

必修科目・必修選択科目・自由選択科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、それぞれの学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということ学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

1 年生は、このように 3 年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」は設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

主題に関連の深い科目は次の通りです。各授業の内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主題	関連の深い科目
文化と人間	文化人類学、歴史学、社会学
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	文学、哲学、文化人類学
時間と人間	歴史学、社会思想史、社会学
制度と人間	政治学、法学、社会科学特論

2・3 年生前期：主題別選択科目―視点の拡充―

2・3 年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、50 分間の授業が 7 回行われます。2 年生と 3 年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講されます。開講科目は、若干の変更の可能性があります。2 年前期の前半 7 回、前期の後半 7 回、3 年前期の前半 7 回、前期の後半 7 回にそれぞれ 1 科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から 2 科目以上を履修することが必要です。ただし、2 年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を 2 回以上選択することはできません。前半 7 回と後半 7 回、合計 2 科目を履修して、1 単位取得となります。

(例)「言語と人間」を選択した学生

→ 2 年前期の前半 7 回「語り (ナラティヴ) の構造」履修

〃 後半 7 回「バルト『表徴の帝国』を読む」履修

(この 2 科目で 1 単位取得)

3 年前期の前半 7 回「いのちと医療の歴史学」履修

〃 後半 7 回「数理理論と形式言語」履修

(この 2 科目で 1 単位取得)

主題	主題別選択科目 (26 年度開講予定)	
	2・3 年の前期前半 7 回 (50 分×7 回)	2・3 年の前期後半 7 回 (50 分×7 回)
文化と人間	いのちと医療の歴史学 (田中) スポーツと健康 (水野) バルト『エッフェル塔』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 現代の日中関係 (社会と文化) (家永) 社会の中の数学 (清田) 物理数学演習 (越野) 社会の中の科学 (奈良) 食品の科学 (澤野) ディアスポラ (離散社会の言語と文学 (高尾)	いのちと医療の倫理学 (田中) スポーツと心 (水野) バルト『表徴の帝国』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 現代の日中関係 (政治と経済) (家永) タンパク質科学の光と影 (奈良) 民主主義を再考する (藤井) ディアスポラの文化 (高尾)
生命と人間	いのちと医療の歴史学 (田中) スポーツと健康 (水野) ゆらぎの科学 (千葉) 物理数学演習 (越野) 食品の科学 (澤野) 生物の中の糖 (勝又) 宇宙と生命 (服部) 生物間のコミュニケーション (伊藤) 医療の社会学 (藤井) ヒトの脳と言語 (産賀)	いのちと医療の倫理学 (田中) スポーツと心 (水野) 物理で見た人体と医療機器 (千葉) タンパク質科学の光と影 (奈良) 植物の科学 (澤野) 老化と寿命 (服部) 生物と環境 (伊藤)
言語と人間	語り (ナラティヴ) の構造 (土佐) バルト『エッフェル塔』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 生物間のコミュニケーション (伊藤) ヒトの脳と言語 (産賀) ディアスポラ (離散社会の言語と文学 (高尾)	語り (ナラティヴ) と時間 (土佐) バルト『表徴の帝国』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 数理理論と形式言語 (清田) 微分方程式演習 (越野) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (産賀) ディアスポラの文化 (高尾)
制度と人間	いのちと医療の歴史学 (田中) バルト『エッフェル塔』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 現代の日中関係 (社会と文化) (家永) 社会の中の数学 (清田) 社会の中の科学 (奈良) 医療の社会学 (藤井)	バルト『表徴の帝国』を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 現代の日中関係 (政治と経済) (家永) 数理理論と形式言語 (清田) 微分方程式演習 (越野) 危険物の科学 (勝又) 民主主義を再考する (藤井)

時間と人間	語り（ナラティブ）の構造（土佐） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 現代の日中関係（社会と文化）（家永） ゆらぎの科学（千葉） 食品の科学（澤野） 宇宙と生命（服部） 医療の社会学（藤井）	語り（ナラティブ）と時間（土佐） いのちと医療の倫理学（田中） ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 現代の日中関係（政治と経済）（家永） 数理理論と形式言語（清田） 物理で見た人体と医療機器（千葉） 微分方程式演習（越野） タンパク質科学の光と影（奈良） 植物の科学（澤野） 老化と寿命（服部） 生物と環境（伊藤） 民主主義を再考する（藤井）
-------	---	--

また、3年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、2年生の間にやっておくべき課題が提示される場合があります。2年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

3年生：主題別人文社会科学セミナー—思考の深化—

3年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生30人を、10人ずつのグループA・B・Cに分けます。セミナーは、このグループごとに、7回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」担当教員の予定です。

セミナーと平行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が7回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を7回ずつ受講します。そして、学年の最後に関講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに30人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組みます。

グループ (各10人)	前 期		後 期	
	前半7回	後半7回	前半7回	後半7回
グループA	セミナー	医療と社会	医療と法	総括セミナー (セミナー論文執筆)
グループB	医療と法	セミナー	医療と社会	
グループC	医療と社会	医療と法	セミナー	

1 年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、2 年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。3 年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題設定は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受講生と共有して、問題点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そして、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」、ここがこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」までの予定

4 月 17 日（木）：各主題でオリエンテーション。

担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定の仕方などについて説明。

4 月 24 日（木）～11 月 20 日（木）：セミナーと講義

12 月 4 日（木）～平成 27 年 2 月 5 日（木）：総括セミナー

2 月 20 日（金）：提出締切（予定）

【今後の予定】

2 年生 4 月～9 月 「主題別選択Ⅰ」受講

3 月 「主題別人文社会科学セミナー」履修の説明

3 年生 4 月～9 月 「主題別選択Ⅱ」受講

4 月～3 月 「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ 前半と後半をあわせてそれぞれ 1 単位。

原則としてレポート（80 点）、出席（20 点）で評価。

ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義 あわせて 2 単位

原則として講義における試験と総括セミナーにおけるレポート（80 点）、出席（20 点）で評価。

主題別選択 I ・ II

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（食品の科学）					
担当教員	澤野 頼子					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間:木曜日(前半7回)・2時限						
対象学科:医学科・歯学科						
募集人数:30名(主題別選択Ⅱ(食品の科学)と合わせて)						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー3)人間の歴史的営みを理解する 別表2ー1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。						
授業の目的、概要等						
食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。						
授業の到達目標(SB0s)						
食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室6	食の歴史的背景(1)	序論、人類の食生活と進化	澤野 頼子
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室6	食の歴史的背景(2)	日本人の食生活史	澤野 頼子
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室6	食品成分の化学的性質(1)	食品の分類、構成成分	澤野 頼子
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室6	食品成分の化学的性質(2)	食品中の水	澤野 頼子
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室6	食品成分の化学的性質(3)	嗜好成分(1)	澤野 頼子
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室6	食品成分の化学的性質(4)	嗜好成分(2)	澤野 頼子
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室6	食品成分の化学的性質(5)	食品の褐変	澤野 頼子
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室6	(予備日)		澤野 頼子
授業方法						
講義による						
授業内容						
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。						
成績評価の方法						
評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%						
再評価: 有						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業で扱った事項について参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。						
試験の受験資格						
2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。						
参考書						
食品の科学／上野川修一、田之倉優 編:東京化学同人, 2005						
食品学:食品成分と機能性／久保田紀久枝、森光康次郎 編:東京化学同人, 2011						
履修上の注意事項						
出欠は出欠管理システムによってとる。						
連絡先						
sawano.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4階						

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ(植物の科学)					
担当教員	澤野 頼子					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間:木曜日(後半7回)・2時限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:30名(主題別選択Ⅱ(植物の科学)と合わせて) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー3)人間の歴史的営みを理解する 別表1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。						
授業の到達目標(SB0s) 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室6	植物の歴史的背景	序論、植物の進化、植物と人間	澤野 頼子
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室6	植物の構造	植物の細胞・組織・器官	澤野 頼子
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室6	植物の機能(1)	植物の成長	澤野 頼子
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室6	植物の機能(2)	光合成(1)	澤野 頼子
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室6	植物の機能(3)	光合成(2)	澤野 頼子
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室6	植物の機能(4)	植物の物質代謝	澤野 頼子
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室6	植物の機能(5)	植物ホルモンの働き	澤野 頼子
授業方法 講義による						
授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。						
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。						
試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。						
参考書 植物生理学／三村徹郎、鶴見誠二 編著.:化学同人, 2009 ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編.:オーム社, 2009						
連絡先 sawano.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階						

時間割番号						
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（スポーツと健康）				
担当教員		水野 哲也				
開講時期		前期	対象年次	2・3		
曜日・時間:木曜						
対象学科:医学科・歯学科						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表1－4)異なる空間の文化を理解する						
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
授業の目的、概要等						
本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か?、を原点に立ち返え、今一度考えてみたい。授業では、私(水野)の考える「スポーツとは?」、「健康とは?」を述べるが、これは私論である。よって、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは? を発表し、その本質について共に考えたい。						
授業の到達目標(SB0s)						
本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか?を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に1600～2000字のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室1	スポーツとは?、健康とは?	スポーツの語源、健康の定義等からその本質について考えます	水野 哲也
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室1	文化とは?	文化の定義等から文化としてのスポーツ、また健康文化について考えます	水野 哲也
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室1	健康を作り出す文化とは?	健康文化としての養生、衛生、セルフケアなど取り上げ、その原理的特徴を考えます。そして、より良い医療文化とはどのようなものか? 皆さんと一緒に考えます	水野 哲也
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室1	健康のためのスポーツとは?	「スポーツは健康にいい」とか、「スポーツをすると健康になる」とか言いますが、どのようなスポーツが本当に健康づくりに役立つのでしょうか?	水野 哲也
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室1	スポーツマンの健康とは?	『お相撲さんは短命だ』と言われる。では、スポーツマンにとっての健康とはどのようなことをいうのでしょうか?	水野 哲也
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室1	発表「私の考えるスポーツと健康」その1	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと健康」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。	水野 哲也
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室1	発表「私の考えるスポーツと健康」その2	授業前半での講義等を聴いて、あなたが考える「スポーツと健康」に関してのテーマについて発表して頂きます。発表時間、方法については受講者数等を考慮した上で決定し、授業前半に指定します。	水野 哲也
授業方法						
授業は講義形式で実施するが、後半はその学習効果を上げるために発表、討議型の授業を行う。						
授業内容						
「スポーツとは?」、「健康とは?」、そして「文化とは?」について考え、その後「スポーツは文化か?」、「健康づくりは文化か?」などについて事例やデータを基に水野の私論を述べる。その後、受講者の発表を行い、意見交換する。						

成績評価の方法 評価:出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性をもって主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められる。発表の内容をしっかりと準備してください。
参考書 痛快!みんなのスポーツ学／辻秀一 著:集英社インターナショナル, 2001
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のS科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されている。
連絡先 mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 AM. 11:00 ～ 12:30 管理研究棟 2階

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（スポーツと心）					
担当教員	水野 哲也					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間:木曜						
対象学科:医学科・歯学科						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表1－7)人間の心への理解を深める						
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
授業の目的、概要等						
本授業では、競技スポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考える。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えたい。						
授業の到達目標(SB0s)						
本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室1	スポーツと心の関連性	競技スポーツでは、よく「心技体の充実が勝敗のカギを握る」と言われます。では、スポーツにおける心とはどのようなものなのでしょうか？、皆さんと一緒に考えます。	水野 哲也
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室1	リラクゼーションと集中	競技スポーツでは、よく「リラックスと集中が大切だ」と言われます。では、スポーツにおけるリラックスまた集中とはどのようなものなのでしょうか？、皆さんと一緒に考えます。	水野 哲也
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室1	メンタルタフネス	競技スポーツでは、よく「メンタルが強い」とか「弱い」とか言われます。本授業ではスポーツにおける精神力について、ジム・レーアーの提唱した「メンタルタフネス理論」を紹介し、概説します。	水野 哲也

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（数理論理と形式言語）					
担当教員	清田 正夫					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時限:木曜日 2 時限 対象学科:医学科、歯学科 受講資格: 募集人数:30人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1), 2-1)						
授業の目的、概要等 数理論理学とは記号を用いて論理を数学的に考察する学問分野である。命題論理、述語論理、直観主義論理、様相論理などの多様な論理が存在する。ここでは、主として第1階述語論理をタブロー法により解説する。さらに、自然言語の形式的取り扱いとしてチョムスキーの生成文法を学ぶ。授業は講義形式で行なうが、テーマによってはセミナー形式をとることもある。						
授業の到達目標(SB0s) 第1階述語論理における恒真式をタブロー法により証明することが出来る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	医学科講義室 1	命題論理1	命題論理の意味論を解説する。	清田 正夫
2	6/19	10:05-10:55	医学科講義室 1	命題論理2	命題論理の構文論を解説する。	清田 正夫
3	6/26	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理1	第1階述語論理の意味論を講義する。	清田 正夫
4	7/3	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理2	第1階述語論理の構文論を講義する。	清田 正夫
5	7/10	10:05-10:55	医学科講義室 1	第1階述語論理3	タブロー法による証明を解説する。	清田 正夫
6	7/17	10:05-10:55	医学科講義室 1	チョムスキーの生成文法1	自然言語の形式的取扱いを論じる。	清田 正夫
7	7/24	10:05-10:55	医学科講義室 1	チョムスキーの生成文法2	生成文法の考え方を紹介する。	清田 正夫
授業方法 主として講義を行なう。						
授業内容 第1回－第2回 命題論理の意味論と構文論 第3回－第5回 タブロー法による第1階述語論理 第6回－第7回 チョムスキーの生成文法						
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 100% ・ その他 0% 再評価：有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義内容の詳細を WebClass に載せているので、復習すること。						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。						
連絡先 kiyota.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)						

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（社会の中の数学）					
担当教員	清田 正夫					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時限: 木曜日 2 時限 対象学科: 医学科、歯学科 受講資格: 募集人数: 30人以下 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-4)						
授業の目的、概要等 数学と日々の生活は無縁のものとする人は多いが、身の回りにある道具や装置に数学の理論が応用されている例は無数にある。ここでは、CD の信頼性を保証する誤り訂正符号、機密事項の伝達に用いられる鍵公開暗号、CT スキャンの基本原理であるラドン変換を取り上げ、それらの数学的基礎を解説する。主として講義形式で行なうが、項目によっては学生に発表させることもある。						
授業の到達目標(SB0s) 数学理論が社会のなかでどのように応用されているかを、実例を通して理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	医学科講義室 1	誤り訂正符号	誤り訂正符号の原理を解説する。	清田 正夫
2	4/24	10:05-10:55	医学科講義室 1	ハミング符号	ハミング符号の構成を与える。	清田 正夫
3	5/1	10:05-10:55	医学科講義室 1	鍵公開暗号	鍵公開暗号の仕組みを解説する。	清田 正夫
4	5/8	10:05-10:55	医学科講義室 1	RSA 暗号	鍵公開暗号の実例を紹介する。	清田 正夫
5	5/15	10:05-10:55	医学科講義室 1	フーリエ級数	フーリエ級数の性質と応用を論じる。	清田 正夫
6	5/22	10:05-10:55	医学科講義室 1	フーリエ変換	フーリエ変換の性質と応用を論じる。	清田 正夫
7	5/29	10:05-10:55	医学科講義室 1	ラドン変換	CT スキャンの基本原理を解説する。	清田 正夫
8	6/5	10:05-10:55	医学科講義室 1			清田 正夫
授業方法 主として講義を行なう。						
授業内容 第1回－第2回 誤り訂正符号とハミング符号 第3回－第4回 鍵公開暗号と RSA 暗号 第5回－第7回 フーリエ変換とラドン変換						
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 100% ・ その他 0% 再評価: 有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義内容の詳細を WebClass に載せているので、復習すること。						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。						
連絡先 kiyota.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田)						

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（バルト『表徴の帝国』を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1ー3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1ー5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
主な講義場所 湯島						
授業の目的、概要等 フランスの批評家ロラン・バルトによる「日本論」を講読します。1970 年に書かれたこの本は、現代の日本を扱っているわけではありませんが、日本のさまざまな事象に対するわれわれの見方を、外部の視点から解体していきます。この書は、一応、外国人の目から見た日本論になっていますが、授業では、その考察の客観性や是非を問うのではなく、バルト独自の表現やものの見方を味わい、具体例を通して、バルトの分析手法や考え方の特徴を理解することを目的とします。						
授業の到達目標(SB0s) 1) バルト独特の分析方法やレトリックを味わう。 2) 日本文化について、新たな視点を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『表徴の帝国』を読む	序論(概要の説明)	中島 ひかる
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『表徴の帝国』を読む	テキスト輪読(例: すきま・天ぶら・箸)	中島 ひかる
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『表徴の帝国』を読む	テキスト輪読(例: 住居表示・皇居・駅)	中島 ひかる
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『表徴の帝国』を読む	テキスト輪読(例: 包み・パチンコ)	中島 ひかる
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『表徴の帝国』を読む	テキスト輪読(例: 文楽・女形・お辞儀)	中島 ひかる
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『表徴の帝国』を読む	テキスト輪読(例: 顔・瞳・文房具)	中島 ひかる
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『表徴の帝国』を読む	まとめと意見交換	中島 ひかる
授業方法 セミナー形式による。 最初に概要を説明した後、担当者を決めて、1回にできるだけ同じテーマで2～3の項目を読んでいきます。毎回、担当者に内容を要約していただいた後、私の解説も含め、それについて皆で意見交換する予定です。						
授業内容 バルトの分析に沿って、日本の食文化(天ぶら、お箸等)、都市空間(皇居、住居表示、駅等)、文化(文楽、女形)、事物(文房具、津風呂敷)等を見ていきます。						
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)0%・レポート70%・ その他 30 % (授業における発表) 再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい) 受講者が少なく、各回の担当箇所の要約や議論が積極的に行われた場合は、平常点の比重をあげることもあります。 担当を割り振った日に無断欠席・遅刻をした場合は、授業部分に関する評価は0とします。						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、2～3名ほどに教科書の担当箇所を割り振りますので、担当者は必ず、概要を説明でき、自身のコメント加えることができるよう準備して下さい。担当者以外も、毎回進む範囲については内容に目を通し、授業中の議論に参加できるよう準備して下さい。						

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

表徴の帝国／ロラン・バルト 著・宗左近 訳・筑摩書房、1996

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。授業開始後 5 分を遅刻の目安とします。教科書は必ず購入して下さい。購入せず出席した場合は欠席と見なします。

備考

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（バルト『エッフェル塔』を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
・曜日・時間: 木曜2限						
・対象学科: 医学科・歯学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する						
別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する						
別表1－4) 異なる空間の文化を理解する						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
フランスの批評家、ロラン・バルトの『エッフェル塔』を講読します。日本でも、2012年にスカイツリーが完成し、これを機に、東京タワーも含めて、人々がこうした建築物に抱く思いが様々なメディアで特集されました。こうした建築物は時代を象徴し、人々の思いが集約される場となっています。エッフェル塔は今では代表的なパリの観光名所ですが、19世紀に建築された当時は醜い鉄の塔としてさんざんな悪評を蒙りました。バルトはこのエッフェル塔という「記号」が持つ意味を、パリの都市構造とも関連づけながら重層的に分析していきます。授業では、バルト独自の表現やものの見方を味わい、具体例を通して、バルトの分析手法や考え方の特徴を理解することを目的とします。						
授業の到達目標(SB0s)						
1)バルト独特の分析方法やレトリックを味わう。						
2)エッフェル塔を通じてフランス文化の一端を知る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	序論(概要の説明)	中島 ひかる
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読（視線）	中島 ひかる
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(小世界)	中島 ひかる
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(鉄の意味)	中島 ひかる
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(社会的表徴)	中島 ひかる
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	テキスト輪読(象徴性)	中島 ひかる
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	まとめと意見交換	中島 ひかる
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 11	バルト『エッフェル塔』を読む	(予備日)	中島 ひかる
授業方法						
セミナー形式による。						
最初に概要を説明した後、担当者を決めて、1回に文庫本にして約20ページを読んでいきます。毎回、担当者に内容を要約していただいた後、私の解説も含め、それについて皆で意見交換する予定です。						

授業内容
バルトの分析に沿って、エッフェル塔を通じて、人間の視線の作用、塔という小空間の意味、鉄という素材の意味、塔の社会的・歴史的象徴性等を見ていきます。
成績評価の方法
評価:試験(期末考査)0%・レポート70%・ その他30%(授業における発表)
再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)
受講者が少なく、各回の担当箇所の要約や議論が積極的に行われた場合は、平常点の比重をあげることもあります。
担当を割り振った日に無断欠席・遅刻をした場合は、授業部分に関する評価は0とします。
成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
初回の導入以外は、毎回、2～3名ほどに教科書の担当箇所を割り振りますので、担当者は必ず、概要を説明でき、自身のコメント加えることができるよう準備して下さい。担当者以外も、毎回進む範囲については内容に目を通し、授業中の議論に参加できるよう準備して下さい。
試験の受験資格
2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書
エッフェル塔／ロラン・バルト 著,宗左近 諸田和治 訳:筑摩書房, 1997
参考書
履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。教科書は必ず購入して下さい。購入せず出席した場合は欠席と見なします。授業開始後 5 分を遅刻の目安とします。
備考
連絡先
nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（物理で見た人体と医療機器）					
担当教員	千葉 司					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時限：木曜日 2 時限（10:05-10:55）						
授業の目的、概要等						
医学や歯学に物理は関係ないと思っている学生が多いかも知れない。						
しかし、人体の働きは物理と密接に関わっているし、多くの医療機器は物理の原理にしたがって動作している。						
これらのことを通して、物理が生物や医療の世界と深いかかわりがあることを理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	物理で見た人体と医療機器	授業の進め方の説明と分担決め	千葉 司
2	6/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	物理で見た人体と医療機器	発表1 力学と人体	千葉 司
3	6/26	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	物理で見た人体と医療機器	発表2 流体と人体	千葉 司
4	7/3	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	物理で見た人体と医療機器	発表3 熱と体温	千葉 司
5	7/10	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	物理で見た人体と医療機器	発表4 音と光と人体	千葉 司
6	7/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	物理で見た人体と医療機器	発表5 電気と磁気の世界	千葉 司
7	7/24	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	物理で見た人体と医療機器	発表6 原子と放射線	千葉 司

授業方法 各人が教科書の一章を担当し、レジュメあるいはパワーポイントを用いて内容を説明し、議論するゼミ形式とする。
成績評価の方法 レポート(発表時のレジュメ)と平常点(発表と議論への参加)による。 再評価:有
準備学習などについての具体的な指示
教科書 医療系のための物理／佐藤幸一・藤城敏幸:東京教学社, 2007
履修上の注意事項 受け身ではなく、自ら授業に積極的に参加する意欲を持つ学生の受講を望む。
連絡先 chiba.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 PM 5:00-7:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号						
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（ゆらぎの科学）				
担当教員		千葉 司				
開講時期		前期	対象年次	2・3		
曜日・時限：木曜日 2 時限（10:05-10:55）						
授業の目的、概要等						
1年生の時に学んだ力学や電磁気学が、医歯学の専門に直接に関わることは少ないかも知れない。ここでは、物理学と生物学の接点について、いくつかの例をゼミ形式で学ぶことにより、生命現象を物理学の側面から理解する方法を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	授業の進め方の説明と分担決め	千葉 司
2	4/24	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	発表1 水中での物体の動き	千葉 司
3	5/1	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	発表2 生物のボディープラン	千葉 司
4	5/8	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	発表3 物質の移動	千葉 司
5	5/15	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	発表4 電気現象と生体での電気活動	千葉 司
6	5/22	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	発表5 光学の基礎と顕微鏡	千葉 司
7	5/29	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	まとめ	千葉 司
8	6/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-1	ゆらぎの科学	（予備日）	千葉 司
授業方法						
ゼミ形式による。						
毎回2人ずつ、教科書を10～15ページくらい分担を決めて発表をしてもらう。						
関連する論文を読んでもらうこともある。						
成績評価の方法						
レポート(発表時のレジュメ)と平常点(発表と議論への参加)による。						
再評価:有						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書						
よくわかる生物基礎物理学／最上善広:サイエンス社						
参考書						
ゾウの時間ネズミの時間（中公新書）／本川達雄:中央公論社						

履修上の注意事項			
受け身ではなく、自ら授業に積極的に参加する意欲を持つ学生の受講を望む。			
連絡先			
chiba.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー			
毎週金曜日 PM 5:00-7:00 ヒボクラテス 4 階			

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ(ドイツとヨーロッパの現在)					
担当教員	シンチンガー エミ					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数:3 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表3－4)外国文化を理解する						
主な講義場所						
湯島キャンパス						
授業の目的、概要等						
ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！ 毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。						
授業の到達目標(SB0s)						
ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの現在1	オリエンテーション、ベルリンについて様々な資料を読む、プリント配布、原文を読み始める	シンチンガー エミ
2	6/19	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの現在2	「Linie 1」から抜粋を読み始める	シンチンガー エミ
3	6/26	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの現在3	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
4	7/3	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの現在4	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
5	7/10	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの現在5	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
6	7/17	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの現在6	「Linie 1」から抜粋を読む	シンチンガー エミ
7	7/24	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの現在7	理解度確認試験	シンチンガー エミ
授業方法						
セミナー形式;初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。						

授業内容 初回:ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布 第2回～第6回:「Line 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。 1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。 第7回:到達したところまでの内容について、試験を行います。			
成績評価の方法 毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。 試験が50パーセント。 再評価:有			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習などについての具体的な指示 ・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。 ・授業時間が短いため、毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。			
試験の受験資格 原則3分の2以上出席			
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.:三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆.:同学社, 2010			
履修上の注意事項 毎回出席を取ります。毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。			
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00			

時間割番号			
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ(ドイツとヨーロッパの社会)	
担当教員		シンチンガー エミ	
開講時期	前期	対象年次	2・3
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:ドイツ語ab,c,d4単位を持っていること ・募集人数:3年生とあわせて20人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-4)異なる空間の文化を理解する 別表3-4)外国文化を理解する 別表3-5)国際情勢を理解する			
主な講義場所 湯島キャンパス			
授業の目的、概要等 ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません！ ドイツ政府やEUのホームページも見えていきます。時間があれば、DVDも見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。			

授業の到達目標(SB0s)

ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府とEUについても学び、「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの社会1	オリエンテーション、教科書第1課	シンチンガー エミ
2	4/24	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの社会2	教科書第2課	シンチンガー エミ
3	5/1	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの社会3	教科書第3課	シンチンガー エミ
4	5/8	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの社会4	教科書第4課、ドイツ政府のホームページ	シンチンガー エミ
5	5/15	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの社会5	教科書第4課、EUのホームページ	シンチンガー エミ
6	5/22	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの社会6	教科書第4課、ニュース映像	シンチンガー エミ
7	5/29	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	ドイツとヨーロッパの社会7	理解度確認試験	シンチンガー エミ
8	6/5	10:05-10:55	医学科演習室 4-11	授業なし	授業なし	シンチンガー エミ

授業方法

セミナー形式: 毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。

授業内容

初回:オリエンテーション、第1課 (1 ページ)

第2回～第3回:第2課と第3課 (3ページと6ページ)

第4回～第6回:第4課(9～13ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVDも使用する予定。

第7回:理解の度合いを調べるため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

試験が 50 パーセント。

再評價:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

- ・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。
- ・授業時間が短いため、毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツとドイツ語を話す国ぐに／Heinz Griesbach [著] 松本嘉久 編：朝日出版社，1994

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也，恒吉良隆，吉中幸平，成田克史，福元圭太，重竹芳江 責任編集執筆，有村隆広，新保弼彬，本田義昭，鈴木敦典 編集執筆：同学社，2010

履修上の注意事項

毎回出席を取ります。毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

每週月曜日 16:30 - 18:00

時間割番号					
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ(宇宙と生命)				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	前期	対象年次	2・3		
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1ー5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。					
授業の目的、概要等 古川さんや野口さんをはじめとする日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。					
授業の到達目標(SB0s) 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 12	宇宙環境と生物(概論)	服部 淳彦
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 12	無(微小)重力と生物(1)	服部 淳彦
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 12	無(微小)重力と生物(2)	服部 淳彦
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 12	宇宙放射線と生物(1)	服部 淳彦
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 12	宇宙放射線と生物(2)	服部 淳彦
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 12	宇宙医学(1)	服部 淳彦
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 12	宇宙医学(2)	服部 淳彦
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 12	予備	服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。					
授業内容 宇宙環境と生物(概論) 無(微小)重力と生物(1) 無(微小)重力と生物(2) 宇宙放射線と生物(1) 宇宙放射線と生物(2) 宇宙医学(1) 宇宙医学(2)					
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。					
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)					

時間割番号					
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（老化と寿命）				
担当教員	服部 淳彦				
開講時期	前期	対象年次	2・3		
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる。					
授業の目的、概要等 「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。					
授業の到達目標(SB0s) 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室 12	老化現象と老化の原因(概要)	服部 淳彦
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室 12	骨の老化	服部 淳彦
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室 12	皮膚の老化	服部 淳彦
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室 12	脳の老化	服部 淳彦
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室 12	血管の老化	服部 淳彦
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室 12	老化と遺伝子	服部 淳彦
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室 12	抗加齢医学	服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。					
授業内容 老化現象と老化の原因(概要) 骨の老化 皮膚の老化 脳の老化 血管の老化 老化と遺伝子 抗加齢医学					
成績評価の方法 評価: その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。					
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)					

時間割番号																																																											
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ(タンパク質科学の光と影)																																																										
担当教員	奈良 雅之																																																										
開講時期	前期	対象年次	2・3																																																								
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する。 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																											
授業の目的、概要等 我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。																																																											
授業の到達目標(SB0s) 授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める																																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>6/12</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室4</td><td>序論</td><td>タンパク質の構造と機能について</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>6/19</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室4</td><td>X線結晶構造解析</td><td>X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>6/26</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室4</td><td>核磁気共鳴分光法</td><td>NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>7/3</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室4</td><td>タンパク質プロジェクト(1)</td><td>タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>7/10</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室4</td><td>タンパク質プロジェクト(2)</td><td>タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>7/17</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室4</td><td>分光学の役割(1)</td><td>フーリエ変換に関する理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>7/24</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室4</td><td>分光学の役割(2)</td><td>タンパク質の構造機能について見方を変える</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室4	序論	タンパク質の構造と機能について	奈良 雅之	2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室4	X線結晶構造解析	X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。	奈良 雅之	3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室4	核磁気共鳴分光法	NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める	奈良 雅之	4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室4	タンパク質プロジェクト(1)	タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める	奈良 雅之	5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室4	タンパク質プロジェクト(2)	タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する	奈良 雅之	6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室4	分光学の役割(1)	フーリエ変換に関する理解を深める	奈良 雅之	7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室4	分光学の役割(2)	タンパク質の構造機能について見方を変える	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室4	序論	タンパク質の構造と機能について	奈良 雅之																																																					
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室4	X線結晶構造解析	X線によるタンパク質の構造解析について理解を深める。	奈良 雅之																																																					
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室4	核磁気共鳴分光法	NMRによるタンパク質の構造解析について理解を深める	奈良 雅之																																																					
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室4	タンパク質プロジェクト(1)	タンパク質構造解析プロジェクトを通じて理解を深める	奈良 雅之																																																					
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室4	タンパク質プロジェクト(2)	タンパク質構造解析プロジェクトについて概説する	奈良 雅之																																																					
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室4	分光学の役割(1)	フーリエ変換に関する理解を深める	奈良 雅之																																																					
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室4	分光学の役割(2)	タンパク質の構造機能について見方を変える	奈良 雅之																																																					
授業方法 講義形式による。 (履修者が10名以下の場合は、履修者の希望に応じてセミナー形式で行うこともできます。)																																																											
授業内容 21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。																																																											
成績評価の方法 評価:試験0%・レポート80% その他(授業への参加度20%) 再評価:有																																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																																											
準備学習などについての具体的な指示 予習:配付資料に目を通してください。 復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。																																																											

試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。) 参考書 タンパク質の生命科学：ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著.:中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学：構造・機能・ゲノミクス／Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳.:化学同人, 2007 入門構造生物学：放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編.:共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能：カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005 連絡先 nara.las@tmd.ac.jp オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階
--

時間割番号																																																																		
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（社会の中の科学）																																																																	
担当教員	奈良 雅之																																																																	
開講時期	前期	対象年次	2・3																																																															
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																																		
授業の目的、概要等 社会の中で話題になっている科学物質、科学現象、科学に関する制度を取り上げます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。まず「水と酸素と二酸化炭素」という誰でもよく知っている物質に焦点を当てます。二酸化炭素がどうして温室効果ガスと言われるか、真面目に考えたことはありますか。燃焼の熱化学方程式などの一般化学の知識はもちろんのこと、分子構造論や量子化学が理解できていないとその訳を説明することができません。しかも、そこに社会問題が加わってきますので、話はかなり複雑です。医歯学の専門の授業では教えてくれないが、教養教育の一環として身につけておきたい自然界の仕組み、社会の仕組みについて理解を深めます。																																																																		
授業の到達目標(SB0s) 授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める																																																																		
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/17</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>疑似科学(1)</td><td>ガイダンスを行った後、疑似科学に関する授業を行う。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/24</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>疑似科学(2)</td><td>疑似科学に関する理解を深める。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>5/1</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>二酸化炭素:温室効果ガス</td><td>地球温暖化に係る二酸化炭素について理解を深める</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>5/8</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>科学教育</td><td>教育制度について取り上げる。大学院進学、博士号取得について考える。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/15</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>医療の中の化学物質(1)</td><td>活性酸素について理解を深める。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/22</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>医療の中の化学物質(2)</td><td>代替医療としての水について理解を深める。</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>5/29</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>医療の中の化学物質(3)</td><td>機能水について取り上げる</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>6/5</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 7</td><td>(予備日)</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 7	疑似科学(1)	ガイダンスを行った後、疑似科学に関する授業を行う。	奈良 雅之	2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 7	疑似科学(2)	疑似科学に関する理解を深める。	奈良 雅之	3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 7	二酸化炭素:温室効果ガス	地球温暖化に係る二酸化炭素について理解を深める	奈良 雅之	4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 7	科学教育	教育制度について取り上げる。大学院進学、博士号取得について考える。	奈良 雅之	5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 7	医療の中の化学物質(1)	活性酸素について理解を深める。	奈良 雅之	6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 7	医療の中の化学物質(2)	代替医療としての水について理解を深める。	奈良 雅之	7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 7	医療の中の化学物質(3)	機能水について取り上げる	奈良 雅之	8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 7	(予備日)		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 7	疑似科学(1)	ガイダンスを行った後、疑似科学に関する授業を行う。	奈良 雅之																																																												
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 7	疑似科学(2)	疑似科学に関する理解を深める。	奈良 雅之																																																												
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 7	二酸化炭素:温室効果ガス	地球温暖化に係る二酸化炭素について理解を深める	奈良 雅之																																																												
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 7	科学教育	教育制度について取り上げる。大学院進学、博士号取得について考える。	奈良 雅之																																																												
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 7	医療の中の化学物質(1)	活性酸素について理解を深める。	奈良 雅之																																																												
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 7	医療の中の化学物質(2)	代替医療としての水について理解を深める。	奈良 雅之																																																												
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 7	医療の中の化学物質(3)	機能水について取り上げる	奈良 雅之																																																												
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 7	(予備日)		奈良 雅之																																																												

授業方法			
講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。			
授業内容			
社会の中で話題になっている科学物質、科学現象、科学に関する制度を取り扱います。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。			
成績評価の方法			
評価:試験0%・レポート80%			
その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)			
再評価:有			
成績評価の基準			
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習などについての具体的な指示			
予習:配付資料、関連資料に目を通してください。			
復習:興味のある項目について、文献を調べてください。			
試験の受験資格			
・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)			
参考書			
疑似科学入門／池内了 著:岩波書店, 2008			
メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著:名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010			
科学と人間の不協和音／池内了 [著]:角川書店, 2012			
活性酸素／高柳 輝夫 編大坂 武男 編大坂 武男 [ほか]共著,日本化学会 監修:丸善			
博士漂流時代:「余った博士」はどうなるか?／榎木英介 [著]:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010			
水素水とサビない身体／太田成男 著:小学館, 2013			
連絡先			
nara.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー			
毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階			

時間割番号			
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ(いのちと医療の倫理学)	
担当教員		田中 智彦	
開講時期	前期	対象年次	2・3
◇ 曜日・時間:木曜2限			
◇ 対象学科:医学科・歯学科			
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)			
別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る			
別表1-9)市民としての倫理観を養う			
別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる			
授業の目的、概要等			
倫理と法は別のものです。しかしながら今日、「生命倫理」として語られることがらの多くにあつては、この二つがしばしば混同されがちです。日本のある著名な哲学者をして、一般に「生命倫理」と呼ばれているものは「本来なら生命倫理ではなく、生命法とも呼ぶべきもの」である、と言わしめるゆえんです。			
では、そうした倫理と法の混同はなぜ生じるのでしょうか。どのような帰結をもたらすのでしょうか。また、名ばかりではない「生命倫理」、つまり「生命法」ではない「生命倫理」があるとしたら、そこでは「いのち」や「医学・医療」をめぐって何が語られ、そして私たちには何が求められることになるのでしょうか。			
この授業では「授業詳細日程」に記すような論点を通して、それら一連の問いを考察してゆきます。それはまた、「生命倫理」の現在を批判的に読み解き、未来を模索する試みともなるでしょう。			

授業の到達目標(SB0s) (1) 上記の試みをつうじて、「医学・医療において倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。 (2) 「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室 9	倫理・法・科学技術	この三つはいかに区別されるのか	田中 智彦
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「治療」と「実験」	この二つはいかに区別されるのか	田中 智彦
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「医学」と「進歩」	「犠牲」はいかに正当化されるのか	田中 智彦
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「死者」と「他者」	「倫理」の基底にあるものを考える	田中 智彦
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「人格」概念の再考	その「光」と「影」をめぐる省察	田中 智彦
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「尊厳」概念の再考	それが「ある」とはどういうことか	田中 智彦
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室 9	まとめ	生命倫理はどこに向かうのか	田中 智彦
授業方法 授業は講義形式で行う予定です。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。						
授業内容 「授業詳細日程」にある通り						
成績評価の方法 ◇ 評価: レポート 80% その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など) ◇ 再評価: 有 (レポート)						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による						
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。						
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格: 原則 7 回中 5 回以上の出席						
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。						
連絡先 tanaka.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室						

時間割番号			
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ (いのちと医療の歴史学)		
担当教員	田中 智彦		
開講時期	前期	対象年次	2・3
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限 ◇ 対象学科: 医学科・歯学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる			
授業の目的、概要等 私たちの「ものの見方」は、私たちが思っている以上に、私たちの言語・文化・歴史に影響され、制約されています。「いのち」や「医学・医療」についても例外ではありません。それどころか、この二つのうちにこそ私たち現代人の「ものの見方」が典型的に映し出されている、と言っても過言ではないほどです。しかし他方で、そうした「ものの見方」はふだん「当たり前」のこととして通用しているの、そこからは何			

がどのように見えているのか、そしてまた見えていないのかは、なかなか問われることはありません。

あらためてそのような問いを立て、それを歴史の観点から考察してゆくのがこの授業です。他の人びとは別にしても、「医学・医療」を志し、「いのち」に関わることを一生の仕事にしようとするのなら、せめて一度なりともそのような問いに取り組んでみる必要があるでしょう。この授業ではそうした機会を提供するべく、「授業詳細日程」に記すような論点について検討してゆきます。

授業の到達目標(SBOs)

- (1) 上記の試みをつうじて、近代以降の「いのち」へのまなざしの変遷とその問題点とについて理解を深めること。
- (2) それとともに、近代以降の医学・医療の展開における問題点をも省みることのできる視点を得ること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「医師」の誕生	近代に医学はいかに変貌したか①	田中 智彦
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 9	医学と近代国家	近代に医学はいかに変貌したか②	田中 智彦
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「いのち」の選別①	「優れた生」をめぐる思想と政治	田中 智彦
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 9	「いのち」の選別②	「生きるに値しない生命」という言説	田中 智彦
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 9	その時、日本は…	日本の近代化と医学・医療を省みる	田中 智彦
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 9	医学・医療と現代社会	見えていることと見えていないこと	田中 智彦
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 9	まとめ	過去からの問いに学ぶ	田中 智彦
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 9	(予備日)		田中 智彦

授業方法

授業は講義形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

「授業詳細日程」にある通り

成績評価の方法

◇ 評価: レポート 80% その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など)

◇ 再評価: 有 (レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。

試験の受験資格

◇ レポートの提出資格: 原則 7 回中 5 回以上の出席

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

連絡先

tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号						
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（生物の中の糖）				
担当教員		勝又 敏行				
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る						
授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。						
授業の到達目標(SB0s) 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	糖とは何か	糖とはどんなものかを紹介する。	勝又 敏行
2	4/24	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	糖の種類、および構造、性質	糖の構造や基本的性質について説明する。	勝又 敏行
3	5/1	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	糖の分析法	糖の分析法について紹介する。	勝又 敏行
4	5/8	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	植物における糖	植物における糖の働きについて紹介する。	勝又 敏行
5	5/15	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	人の中の糖1	人の体の中で糖がどのような働きをしているかを紹介する。	勝又 敏行
6	5/22	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	人の中の糖2	人の体の中で糖がどのような働きをしているかを紹介する。	勝又 敏行
7	5/29	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	糖と疾病 1	糖の異常と疾病との関連について紹介する。	勝又 敏行
8	6/5	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	糖と疾病 2	糖の異常と疾病との関連について紹介する。	勝又 敏行
授業方法 講義形式による						
授業内容 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(授業中小テスト等)50% 再評価:有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						

参考書 コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編] 鈴木康夫、木全弘治 監訳：丸善、2010			
連絡先 katsumata.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー 毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室			

時間割番号						
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（危険物の科学）				
担当教員		勝又 敏行				
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。						
授業の到達目標(SB0s) 危険物の安全な取扱方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室 2	関係法令	化学物質の取扱いに関連する法令を紹介する。	勝又 敏行
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室 2	危険物とは何か	危険物とは何かについて説明する。	勝又 敏行
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室 2	第1類?第3類の性質	第1 類から第3類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室 2	第4類の性質	第4類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室 2	第5類、第6類の性質	第5類、第6類危険物の性質や取扱方法について説明する	勝又 敏行
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室 2	消火法について	危険物火災の消火方法を紹介する。	勝又 敏行
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室 2	火事の事例	危険物火災の事故事例を紹介する。	勝又 敏行
授業方法 講義形式による						
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 第1 類～第3類の性質 4. 第4類の性質 5. 第5類、第6類の性質 6. 消火法について 7. 火事の事例						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(授業中小テスト等)50% 再評価:有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						

準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。	
参考書 基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著大宮喜文 若月薫 訳：共立出版、2009	
連絡先 katsumata.las@tmd.ac.jp	
オフィスアワー 毎週水、木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室	

時間割番号																																																																		
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（語り（ナラティブ）の構造）																																																																	
担当教員	土佐 朋子																																																																	
開講時期	前期	対象年次	2・3																																																															
・曜日・時間：木曜 2 限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・受講資格：「言語と人間」「時間と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力（コンピテシー） 別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る																																																																		
授業の目的、概要等 人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。 本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。 複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。																																																																		
授業の到達目標(SB0s) ①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。 ②3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。																																																																		
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/17</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>ガイダンス</td><td>「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/24</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>「語り」に必要な要素「X」</td><td>夏目漱石は「猫」か。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>5/1</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>「語り手」と「作者」の不思議な関係</td><td>「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/8</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>「わたし」の語り</td><td>「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/15</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―</td><td>「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/22</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―</td><td>フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/29</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>「語り」を創り上げるもの</td><td>「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語りにおける「真実」はあるのかを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/5</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室 3</td><td>（予備日）</td><td></td><td></td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/17	10:05-10:55	大学院講義室 3	ガイダンス	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	土佐 朋子	2	4/24	10:05-10:55	大学院講義室 3	「語り」に必要な要素「X」	夏目漱石は「猫」か。	土佐 朋子	3	5/1	10:05-10:55	大学院講義室 3	「語り手」と「作者」の不思議な関係	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	土佐 朋子	4	5/8	10:05-10:55	大学院講義室 3	「わたし」の語り	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	土佐 朋子	5	5/15	10:05-10:55	大学院講義室 3	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	土佐 朋子	6	5/22	10:05-10:55	大学院講義室 3	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	土佐 朋子	7	5/29	10:05-10:55	大学院講義室 3	「語り」を創り上げるもの	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語りにおける「真実」はあるのかを考察する。	土佐 朋子	8	6/5	10:05-10:55	大学院講義室 3	（予備日）		
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/17	10:05-10:55	大学院講義室 3	ガイダンス	「語り」とは何か。本授業の問題意識を説明する。	土佐 朋子																																																												
2	4/24	10:05-10:55	大学院講義室 3	「語り」に必要な要素「X」	夏目漱石は「猫」か。	土佐 朋子																																																												
3	5/1	10:05-10:55	大学院講義室 3	「語り手」と「作者」の不思議な関係	「わたし」は誰のミステリー。江戸川乱歩『人間椅子』の不気味な世界を語り手の問題から考察する。	土佐 朋子																																																												
4	5/8	10:05-10:55	大学院講義室 3	「わたし」の語り	「わたし」を創り上げるのは「わたし」。夏目漱石『こころ』の二人の「わたし」の語りを語り手の問題から考察する。	土佐 朋子																																																												
5	5/15	10:05-10:55	大学院講義室 3	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り①―	「わたし」を語るのは「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りの危うさを考察する。	土佐 朋子																																																												
6	5/22	10:05-10:55	大学院講義室 3	「わたし」の「嘘」―『舞姫』の語り②―	フィクションとしての「わたし」。森?外『舞姫』の「余」の語りのフィクション性を考察する。	土佐 朋子																																																												
7	5/29	10:05-10:55	大学院講義室 3	「語り」を創り上げるもの	「語り」の中の「真実」。芥川龍之介『藪の中』の語りにおける「真実」はあるのかを考察する。	土佐 朋子																																																												
8	6/5	10:05-10:55	大学院講義室 3	（予備日）																																																														
授業方法 講義を中心とする。																																																																		

授業内容			
語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。			
成績評価の方法			
評価:試験 0%・レポート 80% その他 20%(授業への参加度・授業中の小レポート等)			
再評価:有			
成績評価の基準			
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。			
準備学習などについての具体的な指示			
作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。			
試験の受験資格			
レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。			
参考書			
『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著、中央公論新社、1979			
『時間と自我』／大森荘蔵：青土社、1992			
『ナラティブ・メディスン：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著]、斎藤清二、岸本寛史、宮田靖志、山本和利 訳、医学書院、2011			
『ナラティブ・ベイスト・メディスン：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集、ブライアン・ハーウィッツ 編集、斎藤 清二 監訳、山本 和利 監訳、岸本 寛史 監訳、金剛出版			
『臨床とことば』／河合隼雄、鷺田清一 著、朝日新聞出版、2010			
『ナラティブと医療』／江口重幸、斎藤清二、野村直樹 編、金剛出版、2006			
『ほんとうの構造主義：言語・権力・主体』／出口顯 著、NHK 出版、2013			
履修上の注意事項			
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。			
連絡先			
tosa.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー			
毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50			
管理研究棟 2 階文学研究室			

時間割番号			
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（語り（ナラティブ）と時間）	
担当教員		土佐 朋子	
開講時期		前期	対象年次
			2・3
・曜日・時間：木曜 2 限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・受講資格：「言語と人間」「時間と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力（コンピテシー） - 別表1－1）言語を通じた人間の創造的営みを理解する - 別表1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る			
授業の目的、概要等			
文学は時間芸術であるといわれる。 本授業の目的は、作品に展開される「語り」が「時間」をどのように編集しているのかを考察し、「時間」が人間の表現意図にもとづいて創造されるものであることを理解することである。到達目標は、3年次セミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」と「時間」という観点から養われることである。			
授業の到達目標(SB0s)			
①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。 ②人間の時間認識にとって、言語が重要な役割を果たすことに気づく。 ③3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。			

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室 7	ガイダンス	言葉は時間を編集して一つの世界を創り上げることを確認する。	土佐 朋子
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室 7	「現在」から「過去」へ	日本文学史上ほぼ初めて「時間」編集を積極的に活用した作家、柿本人麻呂を読む。	土佐 朋子
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室 7	「現在」から「過去」、そして「現在」へ	なぜ現在軸から語り出すのか。そのもたらす効果を考察する。	土佐 朋子
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室 7	「過去」と「語り」	遠藤周作『海と毒薬』、勝呂と出会う「私」の現在が語られるのはなぜかを考察する。	土佐 朋子
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室 7	告白という制度	「私」はよく過去を語る。物語る「私」の新しさについて考察する。	土佐 朋子
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室 7	「現在」に復讐する「過去」	夏目漱石『こころ』、「先生」の語りを時間の観点から考察する。	土佐 朋子
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室 7	「時間」が創る「物語」	夢野久作『瓶詰地獄』、逆に並べられた手紙が語るもの考察する。	土佐 朋子

授業方法
講義を中心とする。

授業内容
複数の文学作品にもとづいて、人間の語りにおける時間編集の諸相を確認する。また、「過去」という時間が、人間の言語活動によって創り上げられることを考察する。扱う作品は、夏目漱石『こころ』、遠藤周作『海と毒薬』、夢野久作『瓶詰地獄』などを予定している。

成績評価の方法
評価: 試験 0%・レポート 80%
その他 20% (授業への参加度・授業中の小レポート等)
再評価: 有

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示
作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。

試験の受験資格
レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。

参考書
『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著：中央公論新社、1979
『時間と自我』／大森荘蔵：青土社、1992

履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先
tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー
毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50
管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（生物間のコミュニケーション）					
担当教員	伊藤 正則					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表1－1）言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等 この授業の目的は次の1）～4）である。 1）生物間におけるコミュニケーションの方法（ヒトによる言語を含む）とその制御メカニズムを理解する。 2）この分野における研究の現状を理解する。 3）基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。 4）研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。						
授業の到達目標(SB0s) 1）生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。 2）基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 3）研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	概論-言語とそれ以外のコミュニケーションの方法	伊藤 正則
2	4/24	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	言語の発達と関与する脳構造と遺伝子発現	伊藤 正則
3	5/1	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	pheromone、song	伊藤 正則
4	5/8	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	母と胎児あるいは新生児間のコミュニケーション	伊藤 正則
5	5/15	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	動物(特に昆虫)の社会とコミュニケーション	伊藤 正則
6	5/22	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	植物における個体間のコミュニケーション	伊藤 正則
7	5/29	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	コミュニケーションの方法と進化	伊藤 正則
8	6/5	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物間のコミュニケーション	予備日	伊藤 正則
授業方法 講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。						
授業内容 ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。						
成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 80% その他 20%（授業への参加度・授業中の回答状況） 再評価：有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						
準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。						
試験の受験資格 2/3以上出席したものにレポートの提出の資格を与える。						
参考書 脳とホルモンの行動学／近藤 保彦：西村書店、2012、脳・神経科学入門講座 改訂版 前・後編／渡辺 雅彦：羊土社、2008 行動の神経生物学／GKH Zupanc：シュプリンガー・ジャパン、2007 化学受容の科学：匂い・味・フェロモン 分子から行動まで／東原 和成：化学同人、2012						

履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。			
連絡先 itohmt.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室			

時間割番号						
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（生物と環境）				
担当教員		伊藤 正則				
開講時期	前期	対象年次	2・3			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表2－4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。						
授業の目的、概要等 外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物では特定の刺激に対してほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 生体の基本構造を説明することができる。 2) 生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3) 知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4) 研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物と環境	概論-環境適応の多様性	伊藤 正則
2	6/19	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物と環境	恒常性のしくみ	伊藤 正則
3	6/26	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物と環境	神経系と内分泌系の協調	伊藤 正則
4	7/3	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物と環境	生体防御	伊藤 正則
5	7/10	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物と環境	行動による適応と脳制御メカニズム	伊藤 正則
6	7/17	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物と環境	環境変化による遺伝子発現の変化	伊藤 正則
7	7/24	10:05-10:55	大学院講義室 4	生物と環境	生物間の相互作用と生態系	伊藤 正則
授業方法 講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。						
授業内容 生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。						
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価:有						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						
準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。						

試験の受験資格
2/3以上出席したものにレポートの提出資格を与える。
参考書
ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S.S. Mader: 医学書院, 2005 改訂版第2版 イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫: 羊土社, 2008 イラスト生理学／照井 直人: 羊土社, 2012
履修上の注意事項
出欠管理システムでの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先
itohmtlas@tmd.ac.jp
オフィスアワー
毎週月曜日 AM.10:00-PM2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（医療の社会学）					
担当教員	藤井 達夫					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間： 木曜 2 限						
対象学科： 医学科歯学科						
授業の目的、概要等						
この授業では、医療テクノロジーの発展の中で、医療が理想とした社会像や医療が実際に可能にした社会の仕組みを取り上げ、批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 19 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との深い関係や、医療の理想が20 世紀の福祉国家とそれを支える社会保障制度の成立に与えた影響、そして、現代の医療が目指す社会像などを論じます。社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療を考える視座を獲得すること、これがこの授業の目的です。						
授業の到達目標(SB0s)						
(1)社会科学の視点から近代以降の社会の形成・発展について理解を深めることで、私たちが暮らす社会の特徴について論じることができる。						
(2)社会を構成する諸システムの一つとして医療を理解することで、医療のあり方やそれが抱える問題について議論することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 5	医療が描く理想社会	19 世紀から 20 世紀のヨーロッパで描かれたユートピアとしての医療社会を取り上げ、そこから現在の医療および医療化された社会が孕む問題点に迫ります。	藤井 達夫
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 5	医療と優生学	19 世紀以降、急速に発達する医療と、同時代に誕生する優生思想や社会進化論との根深い関係について論じます。	藤井 達夫
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 5	健康優良者からなる社会 ——ナチス・ドイツの例	優生学と結びついた 20 世紀の医療の負の側面をナチス・ドイツにおける医療政策をとおして検討します。	藤井 達夫
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 5	健康優良者からなる社会 ——日本の例	優生学と結びついた 20 世紀の医療の罪を、日本のハンセン病政策をとおして検討します。	藤井 達夫
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 5	福祉国家における医療	社会権を保障した福祉国家が優生政策を推し進めた事実とその理由について、福祉国家における医療政策をとおして考えます。	藤井 達夫
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 5	病院化社会	医療だけでなく、人びとの生や死のあり方にも多大な影響を及ぼした病院という制度について考えます。	藤井 達夫

7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 5	新しい優生学と現代社会	20 世紀後半以降の医療テクノロジーの発展に伴い誕生した、新しいタイプの優生学と医療との関係に焦点を当て、現代医療が孕む問題を批判的に検討します。	藤井 達夫
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 5	(予備日)		藤井 達夫
授業方法						
講義形式と授業内での質疑応答						
授業内容						
第一回 医療が描く理想社会						
第二回 医療と優生学						
第三回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例						
第四回 健康優良者からなる社会——日本の例						
第五回 福祉国家における医療						
第六回 病院化社会						
第七回 新しい優生学と現代社会						
※以上の授業計画には、変更の可能性があります。						
成績評価の方法						
評価：試験 0 % ・ レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%						
再評価：有(再評価方法)再レポート						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業内で適宜、指示します。						
履修上の注意事項						
出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。						
連絡先						
教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。						
オフィスアワー						
教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。						

時間割番号						
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（民主主義を再考する）				
担当教員		藤井 達夫				
開講時期		前期	対象年次	2・3		
曜日・時間： 木曜 2 限 、対象学科： 医学科歯学科						
授業の目的、概要等						
この授業では、近代以降の民主主義の歴史をたどりながら、現在の民主主義の閉塞状況を批判的に検討します。この検討を手掛かりにして、これからの社会をどのように作り上げていくのか履修者の皆さんと一緒に考えます。誰もが民主主義は私たちの社会のあり方——医療制度を含め——を決定する重要な政治の原理であり、手続きであると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかりと理解している人はどれほどいるのでしょうか。民主主義についての議論をとおして、社会の一員としての自覚と知識を培うことがこの授業の目的になります。また、今年度は、近代民主主義の観点から、日本国憲法について議論する予定です。						
授業の到達目標(SB0s)						
(1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の民主主義が抱える問題について議論することができる。						
(2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代の社会について検討し、議論することできる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室 5	民主主義への不信と不満——民主主義の危機	グローバルな視点から、現代の代表制民主主義への不満とその原因について考えます。	藤井 達夫

2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室 5	戦後日本の民主主義とその歴史	歴史的な視点から、戦後の日本の民主主義の特徴を明らかにし、そこから現在の日本の民主主義の問題点について検討します。	藤井 達夫
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室 5	間接民主主義と直接民主主義	歴史的な視点から、間接民主主義(＝代表制民主主義)と参加民主主義との関係性について検討します。	藤井 達夫
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室 5	民主主義とポピュリズム	民主主義に内在する危険としてしばしば指摘されるポピュリズムに焦点を当て、ポピュリズムの歴史や現在のポピュリズムの問題点について考えます。	藤井 達夫
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室 5	民主主義とエリート主義	エリート主義に基づいた近代の民主主義の構想を批判的に検討することで、その問題点を指摘します。	藤井 達夫
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室 5	民主主義を深める——市民による参加と熟議	参加と熟議をキーワードにして、民主主義をさらに深めようとする現在の理論的構想や実験的な試みを紹介します。	藤井 達夫
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室 5	日本国憲法と戦後民主主義	立憲主義や憲法制定権力という言葉を手掛かりに、日本国憲法と民主主義の関係について検討します。	藤井 達夫

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答

授業内容

第一回 民主主義への不信と不満——民主主義の危機

第二回 戦後日本の民主主義とその歴史

第三回 間接民主主義と直接民主主義

第四回 民主主義とポピュリズム

第五回 民主主義とエリート主義

第六回 民主主義を深める——市民による参加と熟議

第七回 日本国憲法と戦後民主主義

※以上の授業計画には、変更の可能性があります。

成績評価の方法

評価：試験 0 % ・ レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%

再評価：有(再評価方法)再レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業内で適宜、指示します。

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

連絡先

教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（現代の日中関係(社会と文化)）					
担当教員	家永 真幸					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
授業の目的、概要等						
これまでの日中関係がどのような歩みを辿ってきたのか、最新の研究に触れながら理解することで、今後の日中関係について考えるきっかけにもらうための授業です。						
授業の到達目標(SBOs)						
2012年に出版された『日中関係史 1972-2012』全3巻を参考に、とりわけ日中間の社会・文化にまつわる諸問題について理解を深めることを目指します。						
授業計画(参加者の関心事項によっては、以降の内容を変更することもある。)						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	医学科講義室2	ガイダンス	参加者がそれぞれどのような中国イメージを持っているか議論する。その上で、1972年以降の日中関係の歩みを教員が概説する。文化・社会に関する問題で、参加者がどのようなトピックに関心があるかアンケートをとる。	家永 真幸
2	4/24	10:05-10:55	医学科講義室2	日中友好とパンダ神話	国交正常化後の「日中友好」の時代がどのような時代であったのか、パンダの往来をめぐる外交問題に注目しながら理解する。	家永 真幸
3	5/1	10:05-10:55	医学科講義室2	スポーツと政治	サッカー・アジアカップ騒動を事例に、スポーツがもたらす政治問題と、スポーツによって克服される政治問題について考える。	家永 真幸
4	5/8	10:05-10:55	医学科講義室2	労働と日中関係	大連ストライキを事例に、日本社会と中国社会における「ビジネス文化」の違いを理解する。	家永 真幸
5	5/15	10:05-10:55	医学科講義室2	新華僑と日本社会	池袋チャイナタウン問題を参考に、日本における中国人社会がどのような問題に直面しているのかを理解する。	家永 真幸
6	5/22	10:05-10:55	医学科講義室2	新メディアと日中関係	インターネット社会が日中関係をどのように変えつつあるのかについて考える。	家永 真幸
7	5/29	10:05-10:55	医学科講義室2	総合討論	授業内容に基づき、今後の日中関係に対して我々は何ができるのかを考える。	家永 真幸
8	6/5	10:05-10:55	医学科講義室2			家永 真幸
授業方法						
講義形式で行います。						
授業内容						
初回時に受講者の希望を聞いた上で調整しますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。 スポーツと政治／歴史認識問題／大衆文化／世代的要因／留学生交流／華僑						
成績評価の方法						
評価:試験0%・レポート80% その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価:有						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						
準備学習などについての具体的な指示						
毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、毎回コメントを書いていただきます。授業で得た知識を自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。						
参考書						
日中関係史 1972-2012: Ⅲ 社会・文化／園田茂人編: 東京大学出版会, 2012						

連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp	
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室	

時間割番号			
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（現代の日中関係（政治と経済））		
担当教員	家永 真幸		
開講時期	前期	対象年次	2・3

授業の目的、概要等

これまでの日中関係がどのような歩みを辿ってきたのか、最新の研究に触れながら理解することで、今後の日中関係について考えるきっかけにもらうための授業です。

授業の到達目標(SBOs)

2012 年に出版された『日中関係史 1972-2012』全 3 巻を参考に、とりわけ日中間の政治・経済にまつわる諸問題について理解を深めることを目指します。

授業計画(参加者の関心事項によっては、以降の内容を変更することもある。)

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	医学科講義室 2	ガイダンス	参加者がそれぞれどのような中国イメージを持っているか議論する。その上で、1972 年以降の日中関係の歩みを教員が概説する。政治・経済に関する問題で、参加者がどのようなトピックに関心があるかアンケートをとる。	家永 真幸
2	6/19	10:05-10:55	医学科講義室 2	尖閣問題概論	今日の尖閣問題の歴史的経緯を理解する。	家永 真幸
3	6/26	10:05-10:55	医学科講義室 2	中国政治概論	中国の政治システムを、日本と比較しながら理解する。	家永 真幸
4	7/3	10:05-10:55	医学科講義室 2	歴史をめぐる政治問題	日本における歴史解釈や表現が、これまでどのように「問題化」されてきたのか理解する。	家永 真幸
5	7/10	10:05-10:55	医学科講義室 2	天安門事件と報道フレーム	1989 年の天安門事件が「日中友好」をどのように変質させたのか理解する。	家永 真幸
6	7/17	10:05-10:55	医学科講義室 2	日中関係の新局面	日中間の国民感情対立が深刻化する中、両国が新たにどのような関係を構築しようとしているのか理解する。	家永 真幸
7	7/24	10:05-10:55	医学科講義室 2	総合討論	授業内容に基づき、今後の日中関係に対して我々は何ができるのかを考える。	家永 真幸

授業方法

講義形式で行います。

授業内容

初回時に受講者の希望を聞いた上で調整しますが、今のところ下記トピックを扱うことを考えています。
領土問題／対中円借款／東アジア地域協力／食の安全／感染症／観光

成績評価の方法

評価: 試験 0%・レポート 80% その他 20% (授業への参加度・授業中の回答状況)
再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

毎回プリントを配布します。予習は特に必要ありませんが、毎回コメントを書いていただきます。授業で得た知識を自分なりに整理し、レポートに活かすことが望まれます。

参考書 日中関係史 1972-2012: I 政治／高原明生編: 東京大学出版会, 2012 日中関係史 1972-2012: II 経済／服部健治・丸川知雄編: 東京大学出版会, 2012			
連絡先 ienaga.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー 毎週月・水曜日 PM.12:20-PM13:10 管理研究棟 3 階 309 室			

時間割番号						
科目名		主題別選択Ⅰ・Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）				
担当教員		産賀 崇由				
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間: 木曜 2 時限(10:05-10:55)						
対象学科: 医・歯学科						
募集人数: 25人						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 3-1, 3-2, 3-3, 4-1, 4-2, 4-3, 4-5						
授業の目的、概要等						
ヒトが他の動物と異なる大きな特徴は言語によりコミュニケーションを行うことである。この授業では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を用い言語を操ることを可能にするヒトの脳の構造を概観し、ヒトの脳が如何にして環境の情報を得、身体の運動を制御するのかを知り、言語や感情によるコミュニケーションを行うことが何故可能なのかについて理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを説明する技術を習得することを目標とする。講義は英語で記述された配布資料に基づき日本語と英語で行う。						
授業の到達目標(SB0s)						
この授業では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を用い言語を操ることを可能にするヒトの脳の構造を概観し、ヒトの脳が如何にして環境の情報を得、身体の運動を制御するのかを知り、言語や感情によるコミュニケーションを行うことが何故可能なのかについて理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを説明する技術を習得することを目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	Structure of the human brain (1)	Overview of the human brain.	産賀 崇由
2	6/19	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	Structure of the human brain (2)	Language circuits in the brain.	産賀 崇由
3	6/26	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	Critical period for language learning	Is there a critical period for language learning?	産賀 崇由
4	7/3	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	Human behavior related to language	Second-language and sign language.	産賀 崇由
5	7/10	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	Evolution of language	Animal behavior similar to language.	産賀 崇由
6	7/17	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	Bird song	Comparison between bird song and human language.	産賀 崇由
7	7/24	10:05-10:55	医学科演習室 5－3	Behavior of primates	Comparison between behavior of primates and human language.	産賀 崇由
授業方法						
講義形式で行う他、学生にも発表する機会を設ける。						
授業内容						
6月12日(The brain and behavior)						
6月19日(The neural basis of cognition)						
6月26日(Perception)						
7月3日(Movement)						
7月10日(Processing of neural information)						
7月17日(Development and the emergence of behavior)						
7月24日(Language, thought, affect, and learning)						

成績評価の方法 評価：試験 90% ・ レポート 10% ・ その他(出席) 10% 再評価： 有(レポートの提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
履修上の注意事項 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（ヒトの脳と言語）					
担当教員	産賀 崇由					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間:木曜 2 時限(10:05-10:55)						
対象学科: 医・歯学科						
募集人数: 25人						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 4-1, 4-2, 4-3, 4-5						
授業の目的、概要等						
ヒトが他の動物と異なる大きな特徴は言語によりコミュニケーションを行うことである。この授業では、言語を操ることを可能にするヒトの脳の構造を概観し、ヒトの脳が如何にして環境の情報を得、身体の運動を制御するのかを知り、言語や感情によるコミュニケーションを行うことが何故可能なのかについて理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを説明する技術を習得することを目標とする。講義形式で行う他、学生にも発表する機会を設ける。						
授業の到達目標(SBOs)						
ヒトの脳が如何にして環境の情報を得、身体の運動を制御するのかを知り、言語や感情によるコミュニケーションを行うことが何故可能なのかについて理解することを目的とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室2	ヒトの脳の構造(1)	ヒトの脳の構造を概観する。	産賀 崇由
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室2	ヒトの脳の構造(2)	ヒトの脳の中で言語機能を司る領域はどこか。	産賀 崇由
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室2	言語獲得の臨界期	ヒトが言語を獲得するのに臨界期はあるか。	産賀 崇由
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室2	様々な形態の言語	母語の獲得と外国語や手話の獲得に違いはあるか。	産賀 崇由
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室2	言語の起源	動物の言語に類する行動。	産賀 崇由
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室2	鳥の歌	鳥の歌とヒトの言語との比較。	産賀 崇由
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室2	サルの行動	サルの行動とヒトの言語との比較。	産賀 崇由
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室2	予備日		産賀 崇由
授業方法						
講義形式で行う他、学生にも発表する機会を設ける。						
授業内容						
4月17日(ヒトの脳の構造1)						
4月24日(ヒトの脳の構造2)						
5月1日(感覚)						
5月8日(運動)						
5月15日(言語)						
5月22日(感情)						
5月29日(学生による発表)						

成績評価の方法 評価：試験 90%・レポート 10% 再評価：有(レポートの提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 特に要求しない。
履修上の注意事項 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
連絡先 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（微分方程式演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
・曜日・時間：木曜2限 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標(SB0s)						
問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	10:05-10:55	大学院講義室 3	微分方程式演習(1)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
2	6/19	10:05-10:55	大学院講義室 3	微分方程式演習(2)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
3	6/26	10:05-10:55	大学院講義室 3	微分方程式演習(3)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
4	7/3	10:05-10:55	大学院講義室 3	微分方程式演習(4)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
5	7/10	10:05-10:55	大学院講義室 3	微分方程式演習(5)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
6	7/17	10:05-10:55	大学院講義室 3	微分方程式演習(6)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
7	7/24	10:05-10:55	大学院講義室 3	微分方程式演習(7)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
授業方法						
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。						
授業内容						
・物理数学演習(1) ・物理数学演習(2) ・力学演習(1) ・力学演習(2) ・力学演習(3) ・力学演習(4) ・力学演習(5)						
成績評価の方法						
評価：試験（期末考査）0％・レポート0％・その他（各講義での小テスト）100％ 再評価：有						

成績評価の基準	
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による	
準備学習などについての具体的な指示	
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。	
履修上の注意事項	
解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている。	
オフィスアワー	
毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階	

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（物理数学演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
・曜日・時間: 木曜2限 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標(SBOs)						
問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(1)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(2)	物理学を題材とし1階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(3)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(4)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(5)	物理学を題材とし高階常微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(6)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(7)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 4	物理数学演習(8)	物理学を題材とし連立微分方程式に関する演習を行う。	越野 和樹
授業方法						
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。						
授業内容						
・物理数学演習(1) ・物理数学演習(2) ・電磁気学演習(1) ・電磁気学演習(2) ・電磁気学演習(3) ・電磁気学演習(4) ・電磁気学演習(5)						
成績評価の方法						
評価:試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						

履修上の注意事項	
解析学・線形代数の双方に十分な技術を有することを前提としている。	
オフィスアワー	
毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階	

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（ディアスポラ（離散社会）の言語と文学）					
担当教員	高尾 千津子					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医・歯学科 受講資格: 「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数: 20 人						
授業の目的、概要等						
ディアスポラとは本国を持たない、あるいは本国から遠く離れた離散社会を意味する。ユーラシアの西の「半島」であるヨーロッパには、様々な独自の言語を持つ民族的、宗教的マイノリティが存在した。しばしば変わる国境線、人口の移動は、さらに新たなディアスポラを生み、それは社会の緊張要因ともなったが、同時に多様な社会と文化、文学を生み出した。授業では、ヨーロッパを中心に少数派言語、多言語社会、言語接触の歴史を扱う。						
授業の到達目標(SB0s)						
人類の言語の多様性が持つ意味を知る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	
1	4/17	10:05-10:55	共用セミナー室 10	ガイダンス	マイノリティと言語について、ヨーロッパの言語状況	高尾 千津子
2	4/24	10:05-10:55	共用セミナー室 10	多言語の共存	複数の言語が共存する社会とは	高尾 千津子
3	5/1	10:05-10:55	共用セミナー室 10	多言語の分離と衝突	言語をめぐる戦争はなぜ起きたのか	高尾 千津子
4	5/8	10:05-10:55	共用セミナー室 10	共通言語の試み	共通言語エスペラントはどのように生まれたのか、その背景を探る	高尾 千津子
5	5/15	10:05-10:55	共用セミナー室 10	「死語」はいかに復活したか	現代ヘブライ語が生まれた背景と歴史を知る。	高尾 千津子
6	5/22	10:05-10:55	共用セミナー室 10	イディッシュ語という言葉	言語接触の代表例 アシュケナズ系ユダヤ人の言語イディッシュ語とは。	高尾 千津子
7	5/29	10:05-10:55	共用セミナー室 10	イディッシュ語の文学	アシュケナズ系ユダヤ人の文学を紹介する。	高尾 千津子
8	6/5	10:05-10:55	共用セミナー室 10	予備日		高尾 千津子
授業方法						
講義形式						
成績評価の方法						
評価：試験 0% ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20%						
再評価: 有(再評価方法)						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。						
履修上の注意事項						
3 分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。						

時間割番号						
科目名	主題別選択Ⅰ・Ⅱ（ディアスポラの文化）					
担当教員	高尾 千津子					
開講時期	前期	対象年次	2・3			
曜日・時間:木曜2限 対象学科: 医・歯学科 受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数:20人						
授業の目的、概要等 現代のグローバルな人間の移動は、世界各地に新しいディアスポラ文化を生み出している。国を追われた亡命者や難民でなく、国際的な労働力の移動という形での移民たちが、この新たな文化の担い手となっている。授業では、ヨーロッパとアメリカを中心に、移民たちの文化を紹介し、多文化社会が投げかける問題点を考える。						
授業の到達目標(SBOs) 人の移動にともなう文化変容と異文化間の相互理解を重要性を考える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	
1	6/12	10:05-10:55	共用セミナー室10	ガイダンス	移民のアイデンティティと多文化共生について	高尾 千津子
2	6/19	10:05-10:55	共用セミナー室10	アメリカの移民文化 1	アメリカの移民政策の歴史と移民文化について	高尾 千津子
3	6/26	10:05-10:55	共用セミナー室10	アメリカの移民文化 2	アメリカの多文化主義の実際と問題点を紹介する。	高尾 千津子
4	7/3	10:05-10:55	共用セミナー室10	ヨーロッパの移民文化1	ヨーロッパの移民政策とEUにおける域内、域外の人の移動の問題を考える。	高尾 千津子
5	7/10	10:05-10:55	共用セミナー室10	ヨーロッパの移民文化2	ドイツの移民と多文化社会創造の試みを紹介する。	高尾 千津子
6	7/17	10:05-10:55	共用セミナー室10	ヨーロッパの移民文化3	フランスの移民政策とイスラーム文化	高尾 千津子
7	7/24	10:05-10:55	共用セミナー室10	イスラエルの移民文化	移民国家イスラエルの持つ多様な文化と人々を知る	高尾 千津子
授業方法 講義形式						
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価： 有(再評価方法)						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。						
履修上の注意事項 3分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。						

主題別人文社会科学セミナー・講義

●医学科・歯学科(3年生):主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

			3時限(11:10～12:00)														
			文化			生命			言語			制度			時間		
月日	曜日		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
4月17日	木	1	オリエンテーション(医学科講義室2)			オリエンテーション(大学院講義室2)			オリエンテーション(第4ゼミナール室)			オリエンテーション(大学院講義室3)			オリエンテーション(大学院講義室4)		
4月24日	木	2	(共用ゼミナール⑪)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑨)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑦)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑩)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑫)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)
5月1日	木	3															
5月8日	木	4															
5月15日	木	5															
5月22日	木	6															
5月29日	木	7															
6月5日	木	8															
6月12日	木	1	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑪)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑨)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑦)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑩)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑫)	(大学院講義室③)
6月19日	木	2															
6月26日	木	3															
7月3日	木	4															
7月10日	木	5															
7月17日	木	6															
7月24日	木	7															
9月18日	木																
10月2日	木	1	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑪)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑨)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑦)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑩)	(大学院講義室③)	(大学院講義室④)	(共用ゼミナール⑫)
10月9日	木	2															
10月23日	木	3															
10月30日	木	4															
11月6日	木	5															
11月13日	木	6															
11月20日	木	7															
11月27日	木	1	総括ゼミナール(医学科講義室2)			総括ゼミナール(症例検討室)			総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			総括ゼミナール(大学院講義室3)			総括ゼミナール(大学院講義室4)		
12月4日	木	2	合同総括ゼミナール(医学科講義室2)			総括ゼミナール(症例検討室)			総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			総括ゼミナール(大学院講義室3)			総括ゼミナール(大学院講義室4)		
12月11日	木	3	総括ゼミナール(医学科講義室2)			合同総括ゼミナール(症例検討室)			総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			総括ゼミナール(大学院講義室3)			総括ゼミナール(大学院講義室4)		
12月18日	木	4	総括ゼミナール(医学科講義室2)			総括ゼミナール(症例検討室)			合同総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			総括ゼミナール(大学院講義室3)			総括ゼミナール(大学院講義室4)		
1月15日	木	5	総括ゼミナール(医学科講義室2)			総括ゼミナール(症例検討室)			総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			合同総括ゼミナール(大学院講義室3)			総括ゼミナール(大学院講義室4)		
1月22日	木	6	総括ゼミナール(医学科講義室2)			総括ゼミナール(症例検討室)			総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			総括ゼミナール(大学院講義室3)			合同総括ゼミナール(大学院講義室4)		
1月29日	木	7	総括ゼミナール(医学科講義室2)			総括ゼミナール(症例検討室)			総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			総括ゼミナール(大学院講義室3)			総括ゼミナール(大学院講義室4)		
2月5日	木	8	総括ゼミナール(医学科講義室2)			総括ゼミナール(症例検討室)			総括ゼミナール(第4ゼミナール室)			総括ゼミナール(大学院講義室3)			総括ゼミナール(大学院講義室4)		
2月12日	木																
3月5日	木																

時間割番号						
科目名	人文社会科学講義(医療と社会)					
担当教員	藤井 達夫					
開講時期	後期	対象年次	3			
曜日・時間: 木曜 3 限						
対象学科: 医・歯学科						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-4)、1-5)、1-8)、1-9)、2-4)、2-5)						
授業の目的、概要等						
巨大化し複雑化した現代の社会は、政治や経済、教育など、相対的に自律した諸システムから構成され、それらの相互作用によって機能しています。この授業では、医療およびそれを支える制度を社会システムの一つとして理解することで、その特徴や、それが抱える問題について検討します。特に、今年度は、日本の医療制度の歴史や医療政策の形成プロセスにも焦点を当てる予定です。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)医療およびその制度、社会を構成する諸システムの一つとして理解し、政治や経済などの他の諸システムとの関係からそのあり方を分析することができる						
(2)社会システムの一部として理解された医療およびその制度の現在の問題点や課題を発見し、その解決策について議論することができる						
(3)これまでに学んだ知識や獲得した視野と、総括セミナーでの思考の深化とを架橋することができる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療化された社会とその批判 ——脱医療化社会への試み	イリイチやフーコーのテキストを手掛かりにして、医療制度を中心に組織された 20 世紀の社会の特徴とその問題点を指摘します。さらに、脱医療化社会を目指した思想の行方について考えます。	藤井 達夫
2	4/24	11:10-12:00	大学院講義室 4	再帰的近代における医療—— 医療とその制度の民主化——		藤井 達夫
3	5/1	11:10-12:00	大学院講義室 4	世界の医療制度	アメリカおよびヨーロッパ諸国の医療制度のいくつかを取り上げ、それらの特徴を比較検討した上で、各国の医療制度の長所および問題点について考えます。	藤井 達夫
4	5/8	11:10-12:00	大学院講義室 4	日本の医療制度とその特徴	第三回の授業を受けて、日本の医療制度の歴史と特徴、その長所と問題点について検討します。	藤井 達夫
5	5/15	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療と政治・経済	日本の医療政策の決定過程の実情に焦点を当てることで、医療資源とその配分について論じます。	藤井 達夫
6	5/22	11:10-12:00	大学院講義室 4	誰が医療のあり方を決定すべきなのか	医療資源の公正な配分の原理とは何か、それを決定する制度はどうあるべきか、そして誰がその原理に基づいて決定すべきかについて論じます。	藤井 達夫
7	5/29	11:10-12:00	大学院講義室 4	まとめと試験		藤井 達夫
8	6/5	11:10-12:00	大学院講義室 4	(予備日)		藤井 達夫
9	6/12	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療化された社会とその批判 ——脱医療化社会への試み	イリイチやフーコーのテキストを手掛かりにして、医療制度を中心に組織された 20 世紀の社会の特徴とその問題点を指摘します。さらに、脱医療化社会を目指した思想の行方について考えます。	藤井 達夫
10	6/19	11:10-12:00	大学院講義室 4	再帰的近代における医療—— 医療とその制度の民主化——		藤井 達夫

11	6/26	11:10-12:00	大学院講義室 4	世界の医療制度	アメリカおよびヨーロッパ諸国の医療制度のいくつかを取り上げ、それらの特徴を比較検討した上で、各国の医療制度の長所および問題点について考えます。	藤井 達夫
12	7/3	11:10-12:00	大学院講義室 4	日本の医療制度とその特徴	第三回の授業を受けて、日本の医療制度の歴史と特徴、その長所と問題点について検討します。	藤井 達夫
13	7/10	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療と政治・経済	日本の医療政策の決定過程の実情に焦点を当てることで、医療資源とその配分について論じます。	藤井 達夫
14	7/17	11:10-12:00	大学院講義室 4	誰が医療のあり方を決定すべきなのか	医療資源の公正な配分の原理とは何か、それを決定する制度はどうあるべきか、そして誰がその原理に基づいて決定すべきかについて論じます。	藤井 達夫
15	7/24	11:10-12:00	大学院講義室 4	まとめと試験		藤井 達夫
16	10/2	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療化された社会とその批判 ——脱医療化社会への試み	イリイチやフーコーのテキストを手掛かりにして、医療制度を中心に組織された 20 世紀の社会の特徴とその問題点を指摘します。さらに、脱医療化社会を目指した思想の行方について考えます。	藤井 達夫
17	10/9	11:10-12:00	大学院講義室 4	再帰的近代における医療—— 医療とその制度の民主化——		藤井 達夫
18	10/23	11:10-12:00	大学院講義室 4	世界の医療制度	アメリカおよびヨーロッパ諸国の医療制度のいくつかを取り上げ、それらの特徴を比較検討した上で、各国の医療制度の長所および問題点について考えます。	藤井 達夫
19	10/30	11:10-12:00	大学院講義室 4	日本の医療制度とその特徴	第三回の授業を受けて、日本の医療制度の歴史と特徴、その長所と問題点について検討します。	藤井 達夫
20	11/6	11:10-12:00	大学院講義室 4	医療と政治・経済	日本の医療政策の決定過程の実情に焦点を当てることで、医療資源とその配分について論じます。	藤井 達夫
21	11/13	11:10-12:00	大学院講義室 4	誰が医療のあり方を決定すべきなのか	医療資源の公正な配分の原理とは何か、それを決定する制度はどうあるべきか、そして誰がその原理に基づいて決定すべきかについて論じます。	藤井 達夫
22	11/20	11:10-12:00	大学院講義室 4	まとめと試験		藤井 達夫
23	11/27	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫
24	12/4	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫
25	12/11	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫
26	12/18	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫
27	1/15	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫
28	1/22	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫
29	1/29	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫
30	2/5	11:10-12:00		総括セミナー		藤井 達夫

授業方法

講義形式と授業内での質疑応答

授業内容 第一回 医療化された社会とその批判——脱医療化社会への試み 第二回 再帰的近代における医療——医療とその制度の民主化—— 第三回 世界の医療制度 第四回 日本の医療制度とその特徴 第五回 医療と政治・経済 第六回 誰が医療のあり方を決定すべきなのか 第七回 まとめと試験 ※以上の授業計画には、変更の可能性あります。			
成績評価の方法 評価：試験 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法 レポート)			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。			
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。			
連絡先 藤井 達夫:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。			
オフィスアワー 藤井 達夫:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。			

時間割番号						
科目名		人文社会科学講義(医療と法)				
担当教員		飛田 綾子				
開講時期	後期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜日3時限(11時10分から12時)						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)						
授業の目的、概要等						
医療保険をはじめとする日本の社会保障制度の全体像を、なるべく医療現場と関連付けながら説明します。						
各々の保険の受給者資格や保障内容を紹介し、アメリカなど他国との比較的視点も盛り込みつつ、代表的な判例にも言及します。						
授業の到達目標(SBOs)						
(1)国民皆保険・皆年金を実現している日本の社会保障制度と憲法とのつながり、また制度が現在抱えている問題を把握する。						
(2)医療の望ましいあり方とは何かを考察できるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	11:10-12:00	大学院講義室3	オリエンテーション	授業の概要、成績評価等について説明	飛田 綾子
2	4/24	11:10-12:00	大学院講義室3	第1回 日本国憲法と社会保障制度	日本の社会保障制度の全体像の説明。朝日訴訟等、有名な判決の説明。	飛田 綾子
3	5/1	11:10-12:00	大学院講義室3	第2回 社会保険①(医療保険)	社会保険の基本原則、医療保険の内容、医師不足・自由診療等の問題、	飛田 綾子
4	5/8	11:10-12:00	大学院講義室3	第3回 社会保険②(年金保険、介護保険)	年金制度の沿革、財源問題、各国との比較	飛田 綾子
5	5/15	11:10-12:00	大学院講義室3	第4回 社会保険③(労災保険、失業保険)	労災保険の内容(通勤災害、業務上の疾病等、)雇用保険事業の内容、損害賠償との調整等。	飛田 綾子
6	5/22	11:10-12:00	大学院講義室3	第5回 社会福祉サービス、公的扶助(生活保護)	社会福祉制度の展開、児童福祉・障害者福祉の展開、生活保護制度の概要、水際作戦等の問題	飛田 綾子

7	5/29	11:10-12:00	大学院講義室3	第6回 社会手当 (児童扶養手当、児童手当等)	児童手当の内容、少子化社会対策等	飛田 綾子
8	6/5	11:10-12:00	大学院講義室3	第7回 テスト		飛田 綾子
9	6/12	11:10-12:00	大学院講義室3	第1回 日本国憲法と社会保障制度	日本の社会保障制度の全体像の説明。朝日訴訟等、有名な判決の説明。	飛田 綾子
10	6/19	11:10-12:00	大学院講義室3	第2回 社会保険① (医療保険)	社会保険の基本原則、医療保険の内容、医師不足・自由診療等の問題、	飛田 綾子
11	6/26	11:10-12:00	大学院講義室3	第3回 社会保険②(年金保険、介護保険)	年金制度の沿革、財源問題、各国との比較	飛田 綾子
12	7/3	11:10-12:00	大学院講義室3	第4回 社会保険③ (労災保険、失業保険)	労災保険の内容(通勤災害、業務上の疾病等、)雇用保険事業の内容、損害賠償との調整等。	飛田 綾子
13	7/10	11:10-12:00	大学院講義室3	第5回 社会福祉サービス、公的扶助(生活保護)	社会福祉制度の展開、児童福祉・障害者福祉の展開、生活保護制度の概要、水際作戦等の問題	飛田 綾子
14	7/17	11:10-12:00	大学院講義室3	第6回 社会手当 (児童扶養手当、児童手当等)	児童手当の内容、少子化社会対策等	飛田 綾子
15	7/24	11:10-12:00	大学院講義室3	第7回 テスト		飛田 綾子
16	10/2	11:10-12:00	大学院講義室3	第1回 日本国憲法と社会保障制度	日本の社会保障制度の全体像の説明。朝日訴訟等、有名な判決の説明。	飛田 綾子
17	10/9	11:10-12:00	大学院講義室3	第2回 社会保険① (医療保険)	社会保険の基本原則、医療保険の内容、医師不足・自由診療等の問題、	飛田 綾子
18	10/23	11:10-12:00	大学院講義室3	第3回 社会保険② (年金保険、介護保険)	年金制度の沿革、財源問題、各国との比較	飛田 綾子
19	10/30	11:10-12:00	大学院講義室3	第4回 社会保険③ (労災保険、失業保険)	労災保険の内容(通勤災害、業務上の疾病等、)雇用保険事業の内容、損害賠償との調整等。	飛田 綾子
20	11/6	11:10-12:00	大学院講義室3	第5回 社会福祉サービス、公的扶助(生活保護)	社会福祉制度の展開、児童福祉・障害者福祉の展開、生活保護制度の概要、水際作戦等の問題	飛田 綾子
21	11/13	11:10-12:00	大学院講義室3	第6回 社会手当 (児童扶養手当、児童手当等)	児童手当の内容、少子化社会対策等	飛田 綾子
22	11/20	11:10-12:00	大学院講義室3	第7回 テスト		飛田 綾子
23	11/27	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子
24	12/4	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子
25	12/11	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子
26	12/18	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子
27	1/15	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子
28	1/22	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子
29	1/29	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子
30	2/5	11:10-12:00		合同総括セミナー		飛田 綾子

授業方法

毎回教員が作成したレジュメを元に、講義形式で行います。後期後半はレポート執筆に向けたセミナー指導を行います。

授業内容

第1回 日本国憲法と社会保障制度

第2回 社会保険①(医療保険)

第3回 社会保険②(年金保険、介護保険)

第4回 社会保険③(労災保険、失業保険)

第5回 社会福祉サービス、公的扶助(生活保護)

第6回 社会手当(児童扶養手当、児童手当等)

第7回 テスト

成績評価の方法			
評価：試験100%・レポート 0%・その他() 0%			
再評価:有(再評価の方法:原則として再レポートによる)			
成績評価の基準			
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習などについての具体的な指示			
予習よりも復習に重点を置いてください。レジュメに目を通すだけでも勉強になると思います。			
履修上の注意事項			
なるべく毎回出席してください。			
出欠管理システムの受付開始時刻は 11 時、受付終了時刻は 11 時 20 分とします。出席カードも回収します。			
連絡先			
飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。			
オフィスアワー			
飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。			

時間割番号						
科目名		主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）				
担当教員		高尾 千津子				
開講時期		通年	対象年次	3		
曜日・時間:木曜3限						
受講資格:「文化と人間」選択者						
授業の目的、概要等						
日本人は外国をどのように理解し、また理解されてきたのだろうか。近代日本と諸外国の人々との関わりを通して、日本人の異文化理解の実際、庶民の異文化交流の歴史を学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	11:10-12:00	医学科講義室2	オリエンテーション	授業の概要の説明	高尾 千津子
2	4/24	11:10-12:00	共用セミナー室11	Aグループセミナー1	外国人の目から見た近代日本文化	高尾 千津子
3	5/1	11:10-12:00	共用セミナー室11	Aグループセミナー	日本人漂流民の外国理解	高尾 千津子
4	5/8	11:10-12:00	共用セミナー室11	Aグループセミナー	日露戦争と捕虜収容所 日本人はロシア兵をどう見たか	高尾 千津子
5	5/15	11:10-12:00	共用セミナー室11	Aグループセミナー	日本の難民、移民受入の歴史	高尾 千津子
6	5/22	11:10-12:00	共用セミナー室11	Aグループセミナー	横浜外国人墓地の歴史	高尾 千津子
7	5/29	11:10-12:00	共用セミナー室11	Aグループセミナー	ユダヤ難民と敦賀市民 異文化交流の実際	高尾 千津子
8	6/5	11:10-12:00	共用セミナー室11	Aグループセミナー	まとめ	高尾 千津子
9	6/12	11:10-12:00	共用セミナー室11	Bグループセミナー	外国人の目から見た近代日本文化	高尾 千津子
10	6/19	11:10-12:00	共用セミナー室11	Bグループセミナー	日本人漂流民の外国理解	高尾 千津子
11	6/26	11:10-12:00	共用セミナー室11	Bグループセミナー	日露戦争と捕虜収容所 日本人はロシア兵をどう見たか	高尾 千津子
12	7/3	11:10-12:00	共用セミナー室11	Bグループセミナー	日本の難民、移民受入の歴史	高尾 千津子
13	7/10	11:10-12:00	共用セミナー室11	Bグループセミナー	横浜外国人墓地の歴史	高尾 千津子
14	7/17	11:10-12:00	共用セミナー室11	Bグループセミナー	ユダヤ難民と敦賀市民 異文化交流の実際	高尾 千津子
15	7/24	11:10-12:00	共用セミナー室11	Bグループセミナー	まとめ	高尾 千津子
16	10/2	11:10-12:00	共用セミナー室11	Cグループセミナー	外国人の目から見た近代日本文化	高尾 千津子
17	10/9	11:10-12:00	共用セミナー室11	Cグループセミナー	日本人漂流民の外国理解	高尾 千津子
18	10/23	11:10-12:00	共用セミナー室11	Cグループセミナー	日露戦争と捕虜収容所 日本人はロシア兵をどう見たか	高尾 千津子
19	10/30	11:10-12:00	共用セミナー室11	Cグループセミナー	日本の難民、移民受入の歴史	高尾 千津子

20	11/6	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	横浜外国人墓地の歴史	高尾 千津子
21	11/13	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	ユダヤ難民と敦賀市民 異文化交流の実際	高尾 千津子
22	11/20	11:10-12:00	共用セミナー室 11	Cグループセミナー	まとめ	高尾 千津子
23	11/27	11:10-12:00	医学科講義室 2	総括セミナー1		高尾 千津子
24	12/4	11:10-12:00	医学科講義室 2	総括セミナー2		高尾 千津子
25	12/11	11:10-12:00	医学科講義室 2	総括セミナー3		高尾 千津子
26	12/18	11:10-12:00	医学科講義室 2	合同総括セミナー		高尾 千津子
27	1/15	11:10-12:00	医学科講義室 2	総括セミナー5		高尾 千津子
28	1/22	11:10-12:00	医学科講義室 2	総括セミナー6		高尾 千津子
29	1/29	11:10-12:00	医学科講義室 2	総括セミナー7		高尾 千津子
30	2/5	11:10-12:00	医学科講義室 2	総括セミナー8		高尾 千津子
準備学習などについての具体的な指示						
連絡先 高尾 千津子						
オフィシアワー 高尾 千津子						

時間割番号						
科目名		主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）				
担当教員		田中 智彦				
開講時期		通年	対象年次	3		
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限 ◇ 対象学科: 医学科・歯学科 ◇ 受講資格: 「生命と人間」の主題であること ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等						
「生命」という概念をもつ生物は、おそらく人間だけでしょう。そしてそれゆえに、人間だけが自分の生命に「終わり」のあることを意識し、自分に生命が「ある」ことの意味を問う。あるいはそうせざるをえない。またそれゆえに人間だけが、生命とは何かを探究し、ついには生命を操作しようとしさえる。もっともこうしたことは、何も現代に特有のことではなく、人間が「人間」として言語と文化を獲得し、社会を築くようになって以来、連綿と続けられてきたことでした。 このことは他方で、私たちが生命について何ごとかを認識し、考え、語るときにはそこに、私たちの言語・文化・社会が色濃く影を落としていることを示唆します。そしてそうであるとするならば、そのような「影」にどれほど自覚的でありうるかは、私たちが生命について、また人間の生と死について、どれほど深く認識し、考え、語りうるかを左右することになるでしょう。そこでこのセミナーでは、そうした「自覚」や「深さ」へと接近する手立てとして、「授業詳細日程」にあげるような論点について考察していきます。						
授業の到達目標(SB0s)						
セミナーでとりあげられる論点について理解するとともに、それらと各人がこれまでに学んできたこととを結びつけ、そうして「セミナー論文」のための適切な問題設定を見いだすこと。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	11:10-12:00	修士課程講義室	オリエンテーション	授業の概要説明	田中 智彦
2	4/24	11:10-12:00		Aグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦
3	5/1	11:10-12:00		Aグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦
4	5/8	11:10-12:00		Aグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦
5	5/15	11:10-12:00		Aグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦
6	5/22	11:10-12:00		Aグループセミナー5	「生命」と「社会」	田中 智彦

7	5/29	11:10-12:00		Aグループセミナー6	「人間」のゆくえ	田中 智彦
8	6/5	11:10-12:00		Aグループセミナー7	セミナー論文執筆にむけて	田中 智彦
9	6/12	11:10-12:00		Bグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦
10	6/19	11:10-12:00		Bグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦
11	6/26	11:10-12:00		Bグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦
12	7/3	11:10-12:00		Bグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦
13	7/10	11:10-12:00		Bグループセミナー5	「生命」と「社会」	田中 智彦
14	7/17	11:10-12:00		Bグループセミナー6	「人間」のゆくえ	田中 智彦
15	7/24	11:10-12:00		Bグループセミナー7	セミナー論文執筆にむけて	田中 智彦
16	10/2	11:10-12:00		Cグループセミナー1	「生命」とは何なのか	田中 智彦
17	10/9	11:10-12:00		Cグループセミナー2	「正常」と「病理」	田中 智彦
18	10/23	11:10-12:00		Cグループセミナー3	「健康」と「病」	田中 智彦
19	10/30	11:10-12:00		Cグループセミナー4	「身体」と「制度」	田中 智彦
20	11/6	11:10-12:00		Cグループセミナー5	「生命」と「社会」	田中 智彦
21	11/13	11:10-12:00		Cグループセミナー6	「人間」のゆくえ	田中 智彦
22	11/20	11:10-12:00		Cグループセミナー7	セミナー論文執筆にむけて	田中 智彦
23	11/27	11:10-12:00	修士課程講義室	総括セミナー1	中間発表①	田中 智彦
24	12/4	11:10-12:00	修士課程講義室	総括セミナー2	中間発表②	田中 智彦
25	12/11	11:10-12:00	修士課程講義室	合同総括セミナー	中間発表③	田中 智彦
26	12/18	11:10-12:00	修士課程講義室	総括セミナー4	中間発表④	田中 智彦
27	1/15	11:10-12:00	修士課程講義室	総括セミナー5	中間発表⑤	田中 智彦
28	1/22	11:10-12:00	修士課程講義室	総括セミナー6	中間発表⑥	田中 智彦
29	1/29	11:10-12:00	修士課程講義室	総括セミナー7	中間発表⑦	田中 智彦
30	2/5	11:10-12:00	修士課程講義室	総括セミナー8	(予備日)	田中 智彦

授業方法

授業は「講義＋ディスカッション」の形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

「授業詳細日程」にある通り

成績評価の方法

◇評価: セミナー論文 70% その他 30%(出席状況、授業への参加度など)

◇再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。

試験の受験資格

◇ セミナー論文の提出資格: 原則 7 回中 5 回以上の出席

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

連絡先

tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号						
科目名	主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）					
担当教員	土佐 朋子					
開講時期	通年	対象年次	3			
・曜日・時間：木曜 3 限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・受講資格：「言語と人間」の主題であること ・科目を履修して得られる能力（コンピテシー） 別表1－1）言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
授業の目的、概要等						
人間を他の生物から区別するものの一つに「言語」がある。人間は他者同士で構成されるこの社会において、他者とコミュニケーションするために言語が必要となる。医療従事者も、常に「患者」という他者の言葉と向き合っていかなければならない立場にある。 我々は、人間が言葉を使っている、つまりある形を持った考えを言葉で表現して伝え、真実を言葉で再現して伝えていると思いがちである。 しかし、発話主体の制御を時に発話者の意図せぬところで意図せぬメッセージとなって他者に受け取られたり、同じ「真実」であるはずなのにまったく異なる真実が語り出されるということを、我々は日々経験する。 なぜこのようなことが起こるのだろうか。人間と言語との関係はどのようにになっているのか。本当に人間は言語活動の主体たり得るのか。 このような問題意識のもとで、これまで構築されてきた言語や語りに関する理論のいくつかを学び、言語と人間に関する自分なりの見解を持ち、他者の言葉にどう向き合うべきなのか、患者の言葉をどう聞くべきなのか、抽象的かつ具体的に考察することが目的である。						
授業の到達目標(SB0s)						
①人間と言葉の関係性について理解を深める。 ②先人の理論を学びながら、自分自身の人生や生活に引きつけて考察できるようなる。 ③セミナー論文で現段階における見解をまとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	11:10-12:00	第4セミナール室	オリエンテーション	授業の概要説明	土佐 朋子
2	4/24	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Aグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子
3	5/1	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Aグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーソシュールー	土佐 朋子
4	5/8	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Aグループセミナー3	言語過程説―時枝誠記―	土佐 朋子
5	5/15	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Aグループセミナー4	「ことば」の主体―バンヴェニスト―	土佐 朋子
6	5/22	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Aグループセミナー5	作者の死―ロラン・バルト―	土佐 朋子
7	5/29	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Aグループセミナー6	作品からテキストへ―ロラン・バルト―	土佐 朋子
8	6/5	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Aグループセミナー7	まとめ	土佐 朋子
9	6/12	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Bグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子
10	6/19	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Bグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーソシュールー	土佐 朋子
11	6/26	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Bグループセミナー3	言語過程説―時枝誠記―	土佐 朋子
12	7/3	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Bグループセミナー4	「ことば」の主体―バンヴェニスト―	土佐 朋子
13	7/10	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Bグループセミナー5	作者の死―ロラン・バルト―	土佐 朋子
14	7/17	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Bグループセミナー6	作品からテキストへ―ロラン・バルト―	土佐 朋子
15	7/24	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Bグループセミナー7	まとめ	土佐 朋子
16	10/2	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Cグループセミナー1	「ことば」とは何なのか。	土佐 朋子
17	10/9	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Cグループセミナー2	言語の構造、その恣意性。シニフィアンとシニフィエーソシュールー	土佐 朋子
18	10/23	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Cグループセミナー3	言語過程説―時枝誠記―	土佐 朋子
19	10/30	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Cグループセミナー4	「ことば」の主体―バンヴェニスト―	土佐 朋子
20	11/6	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Cグループセミナー5	作者の死―ロラン・バルト―	土佐 朋子
21	11/13	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Cグループセミナー6	作品からテキストへ―ロラン・バルト―	土佐 朋子

22	11/20	11:10-12:00	共用セミナー室 7	Cグループセミナー7	まとめ	土佐 朋子
23	11/27	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー1	セミナー論文執筆にむけて	土佐 朋子
24	12/4	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー2	人間と「ことば」・医療と「ことば」	土佐 朋子
25	12/11	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー3	中間発表①	土佐 朋子
26	12/18	11:10-12:00	第4ゼミナル室	合同総括セミナー	中間発表②	土佐 朋子
27	1/15	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー5	中間発表③	土佐 朋子
28	1/22	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー6	中間発表④	土佐 朋子
29	1/29	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー7	中間発表⑤	土佐 朋子
30	2/5	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー8	中間発表⑥	土佐 朋子
授業方法 演習形式。						
授業内容 10人程度のグループごとに、文献にもとづく演習を行う。 扱う文献は、ソシュール、ヴァンベニスト、時枝誠記、ロラン・バルトの各論考である。演習方式については授業中に説明する。詳しい日程は、授業詳細日程を参照のこと。						
成績評価の方法 評価: 試験 0%・セミナー論文 50% その他(授業への参加度・発表内容等) 50% 再評価: 有(再評価方法 再レポート)						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						
準備学習などについての具体的な指示 文献をしっかりと読むこと。発表には全力で取り組むこと。セミナー論文で取り組む具体的な問題を早めに考えること。						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50 管理研究棟 2階文学研究室						

時間割番号			
科目名	主題別人文社会科学セミナー(制度と人間)		
担当教員	青山 豊		
開講時期	通年	対象年次	3
曜日・時間: 木曜日 3時限(11時10分～12時) 受講資格: 主題「制度と人間」コースであること 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2 2-3			
授業の目的、概要等 授業の目的: 日本社会の構造的変化(少子高齢化やグローバル化など)に応じて変化を迫られる政治制度の本質的理解。 授業の概要: 本セミナーでは、人間との関わりにおいて制度がいかなる理由付けにより構築されてきたのか、また今後構築されていくべきなのかにつき、参加者の積極的なコミットメントを前提にゼミ形式で議論を行う。理論的に言えば、国家が関与する公的制度として医療を構築する必然性はない。「小さな政府」を志向して個人の自由を最大限に尊重するリバタリアニズムからすると、むしろこれは当然の帰結となりうる。しかし、少なくとも現在の日本ではそうした選択がとられておらず、医療従事者に公的資格を設定し、医療提供施設についても法律で様々な規制を行うことで一定水準の医療を安定的に確保できるシステムを国が構築・運営している。また、貧富に関わりなく国民が医療を受診できる公的医療保険制度が整備され、国民皆保険制度として全国民の加入が義務付けられている。そして、このように医療制度を国家の管理下で運営する根拠としては、①福祉国家理念と、②医療の正義がまずは挙げられる。特に②については、経済的価値と生命的価値との衝突を考えさせる契機を与えてくれるだろう。生命的価値の優越性が社会的コンセンサスであるならば、社会における公共的存在であるところの国家がこうした医療正義を実現するべく医療の諸制度を整備・充実させることが大きな責務となってくる。これらの諸点を考慮に入れながら日本の具体的な医療制度をこちらから提示した上で、その根底にある発想を明らかにし、特にその憲法論的是非について参加者には積極的な議論を展開してもらいたいと考えている。			

授業の到達目標(SB0s)

現代国家における自由国家理念と福祉国家理念との併存可能性を制度構造の観点から説明できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	11:10-12:00	大学院講義室3	オリエンテーション	セミナーの概要説明	青山 豊
2	4/24	11:10-12:00	共用セミナー室10	A グループ・セミナー1	公共としての国家	青山 豊
3	5/1	11:10-12:00	共用セミナー室10	A グループ・セミナー2	立憲主義と共和主義	青山 豊
4	5/8	11:10-12:00	共用セミナー室10	A グループ・セミナー3	オムとントワイアン	青山 豊
5	5/15	11:10-12:00	共用セミナー室10	A グループ・セミナー4	民主主義から立憲主義へ	青山 豊
6	5/22	11:10-12:00	共用セミナー室10	A グループ・セミナー5	国家と宗教	青山 豊
7	5/29	11:10-12:00	共用セミナー室10	A グループ・セミナー6	自由と福祉	青山 豊
8	6/5	11:10-12:00	共用セミナー室10	A グループ・セミナー7	自由の相互承認としての憲法	青山 豊
9	6/12	11:10-12:00	共用セミナー室10	B グループ・セミナー1	公共としての国家	青山 豊
10	6/19	11:10-12:00	共用セミナー室10	B グループ・セミナー2	立憲主義と共和主義	青山 豊
11	6/26	11:10-12:00	共用セミナー室10	B グループ・セミナー3	オムとントワイアン	青山 豊
12	7/3	11:10-12:00	共用セミナー室10	B グループ・セミナー4	民主主義から立憲主義へ	青山 豊
13	7/10	11:10-12:00	共用セミナー室10	B グループ・セミナー5	国家と宗教	青山 豊
14	7/17	11:10-12:00	共用セミナー室10	B グループ・セミナー6	自由と福祉	青山 豊
15	7/24	11:10-12:00	共用セミナー室10	B グループ・セミナー7	自由の相互承認としての憲法	青山 豊
16	10/2	11:10-12:00	共用セミナー室10	C グループ・セミナー1	公共としての国家	青山 豊
17	10/9	11:10-12:00	共用セミナー室10	C グループ・セミナー2	立憲主義と共和主義	青山 豊
18	10/23	11:10-12:00	共用セミナー室10	C グループ・セミナー3	オムとントワイアン	青山 豊
19	10/30	11:10-12:00	共用セミナー室10	C グループ・セミナー4	民主主義から立憲主義へ	青山 豊
20	11/6	11:10-12:00	共用セミナー室10	C グループ・セミナー5	国家と宗教	青山 豊
21	11/13	11:10-12:00	共用セミナー室10	C グループ・セミナー6	自由と福祉	青山 豊
22	11/20	11:10-12:00	共用セミナー室10	C グループ・セミナー7	自由の相互承認としての憲法	青山 豊
23	11/27	11:10-12:00		総括セミナー1	自由について	青山 豊
24	12/4	11:10-12:00		総括セミナー2	公共について	青山 豊
25	12/11	11:10-12:00		総括セミナー3	福祉について	青山 豊
26	12/18	11:10-12:00		総括セミナー4	制度の構想について	青山 豊
27	1/15	11:10-12:00		合同総括セミナー	中間発表①	青山 豊
28	1/22	11:10-12:00		総括セミナー6	中間発表②	青山 豊
29	1/29	11:10-12:00		総括セミナー7	中間発表③	青山 豊
30	2/5	11:10-12:00		総括セミナー8	まとめ	青山 豊

授業方法

講義とゼミを並行的に行う

授業内容

第1回 福祉国家と法

第2回 福祉国家の展開とその理論的基礎

第3回 憲法と福祉国家の形成

第4回 福祉国家における権利保障

第5回 福祉国家の制度構想

第6回 高齢者医療制度改革の基本概念

第7回 「公の支配」の意義と射程

成績評価の方法

評価：レポート 85 % ・ その他(出席)15%

再評価: 有(原則として再レポートによる)

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
指定教科書および配布プリントを事前に必ず精読し、配布プリント記載の例題に対応すること
試験の受験資格
履修上の注意事項
毎回出欠を確認します。10分以上の遅刻は欠席扱いとなり、減点対象になりますので気を付けて下さい。
備考
連絡先
青山 豊教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。
オフィスアワー
青山 豊教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号						
科目名	主題別人文社会科学セミナー（時間と人間）					
担当教員	飯田 卓					
開講時期	通年	対象年次	3			
曜日・時間： 木曜 3 限						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-3)、1-4)、2-5)						
授業の目的、概要等						
本セミナーでは、時間の視点から人間あるいは人間の生死の問題を理解することを目指しますが、時間そのものを自明視したまま人間について中心的に考察するわけではありません。すなわち人間の意識や行為（あるいはそれらの基底にある人間のリズム）とは独立に時間なるものが存在すると想定したうえで、そうした時間が一方的に人間を規定するあり様を考察するわけではありません。時間の実在を素朴に認める立場には、時間についての常識的見方だけでなく、たとえばキリスト教における世界創造説や近代以降の自然科学的見方も（その大部分が）含まれますが、ここでの目的はむしろそうした見方を批判的に吟味することにあります。 具体的には時間を対象とする際の二つのアプローチ、すなわち時間について探求するアプローチと時間の視点から人間について探求するアプローチとを区別したうえで、前者においては時間の量的位相（物理的・客観的時間）と質的位相（過去-現在-未来という様相あるいは人間的時間）との関係を問い、後者においては主に前者によって省察された時間的観点から特定の歴史的な文化的社会に位置づけられた人間のあり様を問います。もちろんこうした区別は方法論上のものであり、両者は現実的には循環的關係（相互基づけ関係）にあるという事情を理解することが重要です。すなわち時間というもの——さまざまな社会・文化・歴史的状況——に置かれた人間（の行為）を経由してはじめてその時間的意味を獲得し、同時にそうした人間（の行為）もまた時間を基礎にしてはじめて成立するという事情を認めたうえで、なおかつ人間（の行為）に照準することによって、時間と人間との関係を考察するのです。						
授業の到達目標(SBOs)						
文献講読と討議を通して、時間を自明視することなく、（いかなる意味においてであれ）人間と関わらせながら時間について考察できるようになること。そのうえで、各自の関心にしたがって（生物的時間であれ、物理的時間であれ、社会的時間であれ、心理的時間であれ、歴史的時間であれ、音楽的時間であれ・・・）「時間と人間」に関する問いを正しく設定し、一定の結論を導くことができるようになること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	11:10-12:00	大学院講義室 4	オリエンテーション	授業の概要説明	飯田 卓
2	4/24	11:10-12:00		Aグループセミナー1	「時間と人間」に関する文献選定等	飯田 卓
3	5/1	11:10-12:00		Aグループセミナー2	「時間と人間」に関する文献発表・討議①	飯田 卓
4	5/8	11:10-12:00		Aグループセミナー3	「時間と人間」に関する文献発表・討議②	飯田 卓
5	5/15	11:10-12:00		Aグループセミナー4	「時間と人間」に関する文献発表・討議③	飯田 卓
6	5/22	11:10-12:00		Aグループセミナー5	「時間と人間」に関する文献発表・討議④	飯田 卓
7	5/29	11:10-12:00		Aグループセミナー6	「時間と人間」に関する文献発表・討議⑤	飯田 卓
8	6/5	11:10-12:00		Aグループセミナー7	「時間と人間」に関する文献発表・討議⑥	飯田 卓
9	6/12	11:10-12:00		Bグループセミナー1	「時間と人間」に関する文献選定等	飯田 卓

10	6/19	11:10-12:00		Bグループセミナー2	「時間と人間」に関する文献発表・討議①	飯田 卓
11	6/26	11:10-12:00		Bグループセミナー3	「時間と人間」に関する文献発表・討議②	飯田 卓
12	7/3	11:10-12:00		Bグループセミナー4	「時間と人間」に関する文献発表・討議③	飯田 卓
13	7/10	11:10-12:00		Bグループセミナー5	「時間と人間」に関する文献発表・討議④	飯田 卓
14	7/17	11:10-12:00		Bグループセミナー6	「時間と人間」に関する文献発表・討議⑤	飯田 卓
15	7/24	11:10-12:00		Bグループセミナー7	「時間と人間」に関する文献発表・討議⑥	飯田 卓
16	10/2	11:10-12:00		Cグループセミナー1	「時間と人間」に関する文献選定等	飯田 卓
17	10/9	11:10-12:00		Cグループセミナー2	「時間と人間」に関する文献発表・討議①	飯田 卓
18	10/23	11:10-12:00		Cグループセミナー3	「時間と人間」に関する文献発表・討議②	飯田 卓
19	10/30	11:10-12:00		Cグループセミナー4	「時間と人間」に関する文献発表・討議③	飯田 卓
20	11/6	11:10-12:00		Cグループセミナー5	「時間と人間」に関する文献発表・討議④	飯田 卓
21	11/13	11:10-12:00		Cグループセミナー6	「時間と人間」に関する文献発表・討議⑤	飯田 卓
22	11/20	11:10-12:00		Cグループセミナー7	「時間と人間」に関する文献発表・討議⑥	飯田 卓
23	11/27	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー1	セミナー論文執筆にむけて	飯田 卓
24	12/4	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー2	セミナー論文構想発表①	飯田 卓
25	12/11	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー3	セミナー論文構想発表②	飯田 卓
26	12/18	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー4	セミナー論文構想発表③	飯田 卓
27	1/15	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー5	セミナー論文構想発表④	飯田 卓
28	1/22	11:10-12:00	大学院講義室 4	合同総括セミナー	セミナー論文構想発表⑤	飯田 卓
29	1/29	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー7	セミナー論文構想発表⑥	飯田 卓
30	2/5	11:10-12:00	大学院講義室 4	総括セミナー8	補講	飯田 卓

授業方法

セミナー形式

授業内容

授業はセミナー形式で進めてゆきますので、各回とも履修者各自による報告と討議が中心となります。前半(グループ別)では時間に関する文献をいくつか選び、それらを全員で講読します。具体的には履修者のあいだで分担を決め、担当者にはパワーポイントを用いて内容について報告を行っていただきます。そして報告された内容をもとに全員で討議を行うという仕方です。後半(グループ合同)では各自の関心に従った研究の成果を報告していただき、その報告をもとに討議を行うという仕方です。

成績評価の方法

評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(出席等) 20%

再評価：有(再評価方法 セミナー論文再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

配布された文献は次回までに目を通しておいください。

履修上の注意事項

毎回コメントシートを配布し、出欠をとります。

連絡先

飯田 卓・教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

飯田 卓・教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

平成 16 年 4 月 1 日
規則 第 217 号

（趣旨）

第 1 条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（授業科目の編成）

第 2 条 全学共通科目における授業科目は、次の 4 系をもって編成する。

自由教育講義系
自由教育実習系
自由教育セミナー系
基礎教育系

（授業科目及び単位数）

第 3 条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表 1 に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の議を経て定めるものとする。

（1 単位当たりの授業時間）

第 4 条 学則第 36 条に定める 1 単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義については、15 時間
- (2) 演習については、30 時間
- (3) 実験及び実習については、45 時間

（履修届）

第 5 条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

（定期試験）

第 6 条 履修した授業科目については、試験を行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。
- 3 第 1 項の試験については、別に定める。
- 4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

（学習の評価）

第 7 条 履修した授業科目の成績については、別表 2 により学習の評価を行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、前条第 2 項に該当する授業科目のうち、第 1 項により難しい場合の学習の評価は、別表 3 により行う。

- 3 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
- 4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

(再履修)

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
- 3 別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
- 4 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
- 5 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
- 6 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生には、学則第33条による退学を命ずる。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月31日規則第10号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成20年3月31日規則第8号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成20年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 21 年 3 月 19 日規則第 11 号）

- 1 この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 21 年 3 月 31 日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 21 年 4 月 1 日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 3 月 30 日規則第 40 号）

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 22 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表 1、別表 2 及び別表 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 23 年 3 月 4 日規則第 14 号）

- 1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 23 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 23 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

別表1 (1) 省略

(2)第2学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	生命科学基礎	2			2			
		主題別選択Ⅰ	1			1			
	連携 教育	教養英語				4			
		情報科学演習				1			
		サイエンスPBL				1			
		生命科学(人体の生物学)				2			
		生命科学(生物物理化学)				2			
		人文社会科学総合講義				2			
第2学年 小計			3			15			

(3)第3学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	主題別選択Ⅱ	1			1			
		主題別人文社会科学セ ミナー	2			2			
第3学年 小計			3			3			
全学共通科目 合計			40	29	32	52	26	26	

別表2

摘 要	成績区分	評価区分	単位認定
第7条第1項に該当する授業科目	100～90 点	秀	合格
	89～80 点	優	
	79～70 点	良	
	69～60 点	可	
	59～0 点	不可	不合格

別表3

摘 要	成績区分	評価区分	単位認定
第7条第2項に該当する授業科目	—	合格	合格
	—	不合格	不合格

講義室一覧

(生命科学基礎)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	大学院講義室4	M&Dタワー9階

(主題別選択Ⅰ・Ⅱ)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	医学科講義室2	3号館3階
3	共用セミナー1	M&Dタワー24階
4	共用セミナー2	M&Dタワー23階
5	共用セミナー4	M&Dタワー22階
6	共用セミナー5	M&Dタワー15階
7	共用セミナー6	M&Dタワー15階
8	共用セミナー7	M&Dタワー14階
9	共用セミナー9	M&Dタワー8階
10	共用セミナー10	M&Dタワー8階
11	共用セミナー11	M&Dタワー6階
12	共用セミナー12	M&Dタワー6階
13	大学院講義室3	M&Dタワー11階
14	大学院講義室4	M&Dタワー9階
15	演習室3-11.12	3号館3階
16	演習室5-1.2	3号館5階
17	演習室5-3,4	3号館5階

(主題別人文社会科学セミナー・講義)

	講義室	場所
1	医学科講義室2	3号館3階
2	大学院講義室3	M&Dタワー11階
3	大学院講義室4	M&Dタワー9階
4	症例検討室	医学部附属病院5F
5	第4ゼミナール室	7号館6階
6	共用セミナー7	M&Dタワー14階
7	共用セミナー9	M&Dタワー8階
8	共用セミナー10	M&Dタワー8階
9	共用セミナー11	M&Dタワー6階
10	共用セミナー12	M&Dタワー6階